

(様式第 10)

三大医病総第 850 号  
平成 30 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

国立大学法人三重大学  
学長 駒田 美弘

国立大学法人三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
氏 名	国立大学法人三重大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人三重大学医学部附属病院
-------------------

3 所在の場所

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地	電話( 059 ) 232 - 1111
-------------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	2 消化器内科	③循環器内科	④腎臓内科
5 神経内科	⑥血液内科	7 内分泌内科	8 代謝内科
9 感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11 リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科      ②消化器外科      ③乳腺外科      4心臓外科 5血管外科      ⑥心臓血管外科      7内分泌外科      ⑧小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科    ②小児科    ③整形外科    ④脳神経外科    ⑤皮膚科    ⑥泌尿器科    ⑦産婦人科 8産科    9婦人科    ⑩眼科    ⑪耳鼻咽喉科    ⑫放射線科    13放射線診断科 14放射線治療科    ⑮麻酔科    ⑯救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科    2矯正歯科    ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1脳神経内科    2消化器・肝臓内科    3腫瘍内科    4糖尿病・内分泌内科    5緩和ケア内科 6病理診断科    7移植外科    8形成外科    9リウマチ・膠原病内科
--

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30床	0床	0床	0床	655床	685床

## 6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	422人	31人	429.7人	看 護 補 助 者	62人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	13人	0人	13人	理 学 療 法 士	13人	臨床検査技師	64人
薬 剤 師	49人	3人	50.8人	作 業 療 法 士	3人	衛生検査技師	1人
保 健 師	0人	1人	0.6人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	0人
助 産 師	34人	6人	37.6人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	3人
看 護 師	516人	113人	586.2人	臨 床 工 学 士	23人	医療社会事業従事者	10人
准 看 護 師	1人	4人	3.4人	栄 養 士	0人	その他の技術員	21人
歯 科 衛 生 士	3人	0人	3人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	226人
管理栄養士	7人	4人	10.1人	診 療 放 射 線 技 師	42人	そ の 他 の 職 員	34人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	57人	眼 科 専 門 医	7人
外 科 専 門 医	43人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	7人
精 神 科 専 門 医	6人	放 射 線 科 専 門 医	5人
小 児 科 専 門 医	18人	脳 神 経 外 科 専 門 医	12人
皮 膚 科 専 門 医	4人	整 形 外 科 専 門 医	14人
泌 尿 器 科 専 門 医	9人	麻 酔 科 専 門 医	11人
産 婦 人 科 専 門 医	16人	救 急 科 専 門 医	16人
		合 計	225人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

## 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 伊藤 正明 ) 任命年月日 平成 28 年 10 月 1 日

医療安全管理にかかる委員会 (医療問題対策委員会、医療の質・倫理検討委員会) の委員としての業務。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	528.8人	10.1人	538.9人
1日当たり平均外来患者数	1320.0人	86.2人	1406.2人
1日当たり平均調剤数			698.8剤
必要医師数			132.1人
必要歯科医師数			7.0人
必要薬剤師数			18人
必要(准)看護師数			317人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	689.70m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	16床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	374m <sup>2</sup>	病床数	31床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	53m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	423m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遠心機、自動分析装置			
細菌検査室	147m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡、遠心機、安全キャビネット			
病理検査室	236m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡、染色装置			
病理解剖室	32m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電動昇降式解剖台			
研究室	758m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遺伝子解析装置、液体クロマトグラフ、自動洗浄機			
講義室	1382m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	16室	収容定員	1,070人
図書室	759m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室	蔵書数	55,180冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	86.0%	逆紹介率	61.1%
算出根拠	A：紹介患者の数		13,422人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,374人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,172人
	D：初診の患者の数		16,964人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
片山 眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
鈴木 明	浜松医科大学医学部 附属病院 医療安全管理室 特任講師	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
西井 恵子	三重県津保健所 総務企画課 医療監視員		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1
原 健二	元警視正・三重県警察本部 警備部長		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
公表の方法	
本学ホームページに掲載。	





## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	腎がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	副腎腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	肺がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	54人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨悪性腫瘍に対する凍結療法	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍に穿刺し、腫瘍に対してラジオ波発生装置による凝固療法である。			
医療技術名	骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 有痛性骨病変に対して、経皮的骨形成術を行う。11Gの骨生検針を骨内に挿入し、骨セメントを注入する。本院での入院期間は約6日間と短期間である。			
医療技術名	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 胃がん患者に対して遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。			
医療技術名	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 子宮体がん患者に対して遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。			
医療技術名	遺伝子変異保有者に対するリスク低減両側卵管卵巣切除術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 BRCA1/2遺伝子の異変が認められた、今後の妊娠を希望しない方に対して卵巣がんのリスクを下げるために、がんを発症する前に左右両方の卵巣および卵管を切除する。			
医療技術名	卵巣がんに対する腹腔鏡下卵巣がん根治術・傍大動脈リンパ節郭清術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 最大径10cm以下で原発性卵巣癌Ⅰ期～Ⅱ期が疑われ、病理組織にて悪性と診断された挙児希望を有さない25～75歳の女性に対し、腹腔鏡下子宮全摘、両側付属器切除、大網切除、骨盤リンパ節郭清、傍大動脈リンパ節郭清を施行する。			
医療技術名	子宮頸癌に対する腹腔鏡下傍大動脈リンパ節生検術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 子宮頸癌(扁平上皮癌、腺癌、腺扁平上皮癌)ⅡB～ⅢB期、画像診断で骨盤リンパ節陽性と診断された症例で、画像検索(CT/MRI/PET-CT)にて傍大動脈リンパ節(腎静脈～総腸骨動脈分岐部:以下PAN)転移以外の遠隔転移を認めない20～75歳の女性に対し、腹腔鏡下傍大動脈リンパ節生検を施行する。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。



(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	59
2	筋萎縮性側索硬化症	15	57	特発性拡張型心筋症	63
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	14
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	8	60	再生不良性貧血	40
6	パーキンソン病	157	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	63
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	49	66	IgA腎症	38
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	22
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	61	68	黄色靱帯骨化症	10
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	14	69	後縦靱帯骨化症	57
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	2
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	19
17	多系統萎縮症	12	72	下垂体性ADH分泌異常症	17
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	47	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	1	74	下垂体性PRL分泌亢進症	10
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	6
21	ミトコンドリア病	1	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	43	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	18
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	46
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	15	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	58
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	4
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	29
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	26
34	神経線維腫症	22	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	24	90	網膜色素変性症	30
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	14	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	53
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	18	95	自己免疫性肝炎	7
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	185
42	結節性多発動脈炎	9	97	潰瘍性大腸炎	364
43	顕微鏡的多発血管炎	8	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	3	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	6	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	6	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	148	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	85	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	135	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	24	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	11	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	1	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	2
55	再発性多発軟骨炎	0	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	8
113	筋ジストロフィー	4	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	2

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	7	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	20	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	4
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	4	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	7
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	5
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウルジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	46

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	$\beta$ ーケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療環境体制加算	・呼吸ケアチーム加算
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算1・2
・特定機能病院入院基本料	・データ提出加算2
・臨床研修病院入院診療加算	・入退院支援加算2・3
・救急医療管理加算	・精神疾患診療体制加算1・2
・超急性期脳卒中加算	・救命救急入院料4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・特定集中治療室管理料1
・診療録管理体制加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・医師事務作業補助体制加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料
・急性期看護補助体制加算	・小児入院医療管理料2
・看護職員夜間配置加算	・
・看護補助加算1	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1, 2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・抗菌薬適正使用支援加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・羊膜移植術
・慢性維持透析患者外来医学管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・糖尿病合併症管理料	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・糖尿病合併症管理料	・網膜再建術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・人工内耳埋込術
・がん患者指導管理料1~3	・植込骨導補聴器の植え込み及び接合子付骨導端子又は骨導端子の交換
・外来緩和ケア管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V(拡大副鼻腔手術)
・移植後患者指導管理料	・上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)
・糖尿病透析予防指導管理料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
・外来リハビリテーション診療料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、2
・外来放射線照射診療料	・人工乳房及び組織拡張器
・開放型病院共同指導料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、
・がん治療連携計画策定料	胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、
・認知症専門診断管理料	結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、
・肝炎インターフェロン治療計画料	尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、
・ハイリスク妊産婦連携指導料Ⅰ・Ⅱ	膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・薬剤管理指導料	・経皮的冠動脈形成術
・地域連携診療計画加算	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・診療情報提供料(Ⅰ) 検査・画像情報提供加算	・経カテーテル大動脈弁置換術
・診療情報提供料(Ⅰ) 電子的診療情報提供料	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療機器安全管理料1・2	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・歯科治療総合医療管理料	・ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
・在宅血液透析指導管理料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・持続血糖測定器加算	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術

・造血器腫瘍遺伝子検査	・大動脈バルーンパンピング法
・遺伝学的検査	・補助人工心臓
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・経皮的動脈遮断術
・HPV核酸検出	・ダメージコントロール手術
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・検体検査管理加算(Ⅰ)(Ⅳ)	・腹腔鏡下噴門側胃術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・国際標準検査管理加算	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・遺伝カウンセリング加算	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
・植込型心電図検査	・腹腔鏡下肝切除術
・時間内歩行試験	・腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
・シャトルウォーキングテスト	・生体部分肝移植術
・胎児心エコー法	・同種死体肝移植術
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・皮下連続式グルコース測定	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・補聴器適合検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ロービジョン検査判断料	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・コンタクトレンズ検査料1	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術
・センチネルリンパ節生検	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算1, 2	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ポジトロン断層撮影	・同種死体腎移植術
・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・生体腎移植術
・CT撮影及びMRI撮影	・膀胱水圧拡張術
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・外傷全身CT加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・大腸CT撮影加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの)
・心臓MRI撮影加算	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腹腔鏡下仙骨腫固定術



・外来化学療法加算1	・腹腔鏡下膣式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・無菌製剤処理料	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・歯科口腔リハビリテーション2	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・胎児胸腔 ・羊水腔シャント術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・輸血管管理料(Ⅰ)、(Ⅱ)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・貯血式自己血輸血管管理体加算
・がん患者リハビリテーション料	・自己生体組織接着剤作成術
・認知療法 ・認知行動療法	・人工肛門 ・人工膀胱造設術前処置加算
・精神科ショート ・ケア及びデイ ・ケア(小規模なもの)	・歯周組織再生誘導手術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・手術時歯根面レーザー応用加算
・医療保護入院等診療料	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・エタノールの局所注入(甲状腺 ・副甲状腺)	・麻酔管理料Ⅰ、Ⅱ
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・放射線治療専任加算
・人工腎臓の導入期加算2(腎代替療法実績加算)	・外来放射線治療加算
・透析液水質確保加算2	・高エネルギー放射線治療
・一酸化窒素吸入療法	・強度変調放射線治療(IMRT)
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・1回線量増加加算(全乳房照射)
・歯科技工加算	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・皮膚移植術(死体)	・1回線量増加加算(前立腺照射)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)【一次再建 ・二次再建】	・定位放射線治療
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種移植術(非生体)(同種骨移植術(特殊なものに限る))	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・画像誘導密封小線源治療加算
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・腫瘍脊椎骨全摘出術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術	・病理診断管理加算2(デジタル病理画像)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・仙骨神経刺激装置植込術 ・交換術	・クラウン ・ブリッジ維持管理料
・CAD/CAM冠	・



(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
薬物血中濃度に基づく外来HIV共同薬物治療管理体制の構築と薬学的評価	奥田真弘	医学部附属病院	1,150,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
医療機関における感染対策の質向上のための包括的システム構築に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	1,676,202	補委 独立行政法人日本学術振興会
認知症患者に対する音楽体操の認知機能改善効果の検討	佐藤正之	医学部附属病院	1,393,197	補委 独立行政法人日本学術振興会
左心系疾患による肺高血圧症進展のメカニズム解明および治療ターゲットの創出	土肥薫	医学部附属病院	2,001,418	補委 独立行政法人日本学術振興会
新規白血病治療薬開拓に向けた白血病微小環境におけるN-カドヘリン分子の機能解析	岩本彰太郎	医学部附属病院	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
炎症関連因子—血管平滑筋脱分化を標的とした肺動脈性肺高血圧の新規治療法の開発	三谷義英	医学部附属病院	1,603,750	補委 独立行政法人日本学術振興会
緊張病症状の病態仮説の拡散テンソル画像による形態学的検証	城山隆	医学部附属病院	1,620,420	補委 独立行政法人日本学術振興会
骨軟部腫瘍に対するCTガイド下凍結療法:基礎的研究と臨床試験	中塚豊真	医学部附属病院	2,652,990	補委 独立行政法人日本学術振興会
胃癌外科的治療テラレーメード化目的のリンパ節転移同定エピゲノムパネルの確立	安田裕美	医学部附属病院	1,010,498	補委 独立行政法人日本学術振興会
大腸癌腫瘍播種に関与するmicroRNAの網羅的解析と治療戦略	藤川裕之	医学部附属病院	745,406	補委 独立行政法人日本学術振興会
DNAメチル化の網羅的解析による潰瘍性大腸炎術後回腸炎発症の機序解明	川村幹雄	医学部附属病院	1,059,105	補委 独立行政法人日本学術振興会
高齢化社会に適応する高機能性脊椎インプラントの開発	明田浩司	医学部附属病院	480,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
酸感受性受容体を中心とした骨吸収関連疼痛因子の発現検索による骨粗鬆症疼痛の解明	若林弘樹	医学部附属病院	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
プロテオミクスを用いた小児炎症性腸疾患の新規マーカーの探索	内田恵一	医学部附属病院	317,089	補委 独立行政法人日本学術振興会
PDE2遺伝子変異を標的とした悪性腫瘍の新規治療方法の開発	村田琢	医学部附属病院	1,273,665	補委 独立行政法人日本学術振興会
PDE1阻害剤による口腔悪性黒色腫の転移抑制機構の解明と新規治療法の開発	清水香澄	医学部附属病院	1,684,205	補委 独立行政法人日本学術振興会
運動教示のためのリアルタイム身体動作符号化	坂本良太	医学部附属病院	574,940	補委 独立行政法人日本学術振興会
くも膜下出血後早期脳損傷の病態解明	藤本昌志	医学部附属病院	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
骨軟部腫瘍の免疫チェックポイント機構の解析	柿本拓也	医学部附属病院	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
医師のノンテクニカルスキル習得および向上のための基盤構築に関する研究	兼兒敏浩	医学部附属病院	100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
暴力の世代伝達を断ち切るケアに関する研究:PTSD予防・治療・回復と周産期支援	鈴木大	医学部附属病院	50,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬のPK/PD評価系構築と個別化治療への応用	岩本卓也	医学部附属病院	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
効果的な医療従事者向けチームコーチングプログラムの開発	田口智博	医学部附属病院	1,608,393	補委 独立行政法人日本学術振興会
脂肪肝における肝由来低エントロピー小胞による動脈硬化発症のメカニズムの解明	杉本和史	医学部附属病院	1,456,657	補委 独立行政法人日本学術振興会
機能的MR撮影法による頭頸部腫瘍の診断と早期治療効果判定の検討	海野真記	医学部附属病院	1,894,485	補委 独立行政法人日本学術振興会

治療抵抗性の肝転移に対する球状塞栓物質を用いた肝動脈塞栓療法:多施設共同臨床試験	中塚豊真	医学部附属病院	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
従来の肝動脈塞栓術不応後の肝細胞癌に対する球状塞栓物質を用いた肝動脈化学塞栓療法	中塚豊真	医学部附属病院	251,820	補委	独立行政法人日本学術振興会
クローン病長期寛解維持のための薬剤反応性予測マーカーの解明	荒木俊光	医学部附属病院	1,300,196	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺移植におけるドナー肺長時間保存法の確立ーより長時間作動PPCの模索ー	島本亮	医学部附属病院	3,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍微小環境調整因子併用による抗腫瘍治療薬効果改善法の開発	松原孝夫	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血小板の細菌感染防御メカニズムの解明:新しい敗血症治療戦略を提唱するために	亀井政孝	医学部附属病院	1,254,416	補委	独立行政法人日本学術振興会
外傷性嗅覚障害に対する抗HMGB1抗体療法確立のための基礎研究	西田幸平	医学部附属病院	2,693,970	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗酸化剤(ミセル化TENPO)を利用した急性肺傷害治療の開発	中橋奨	医学部附属病院	613,674	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症に対するワクチン治療の開発	荻原義人	医学部附属病院	2,149,600	補委	独立行政法人日本学術振興会
ペイズ法を用いたマクネマー検定の改善	小椋透	医学部附属病院	685,978	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外マトリックスに着目した隣切除後NASH発生機序に関する分子基盤的研究	加藤宏之	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳梗塞急性期におけるペントラキシン3の作用	新堂晃大	医学部附属病院	2,007,958	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症性ショックにおいて腹部臓器から放出される細胞外小胞が多臓器不全へ与える影響	坂倉庸介	医学部附属病院	2,640,492	補委	独立行政法人日本学術振興会
低体温療法時の感染症管理をいかに行うか?:包括的治療戦略構築へのアプローチ	鈴木圭	医学部附属病院	1,177,923	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症における人工呼吸関連肺損傷に対するトロンボモジュリンの抑制効果	岩下義明	医学部附属病院	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
$\beta$ 2インテグリンとトロンボモジュリンの結合が炎症と凝固に与える影響	川本英嗣	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腸内細菌を基盤にしたimmunoparalysisの病態形成と治療法に関する検討	増井亜紗実	医学部附属病院	3,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	内田恵一	医学部附属病院	200,000	補委	厚生労働省
新型インフルエンザ等の感染症発生時のリスクマネジメントに資する感染症のリスク評価及び公衆衛生的対策の強化に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	1,000,000	補委	厚生労働省
地域における感染症対策に係るネットワークの標準モデルを検証・推進するための研究	田辺正樹	医学部附属病院	7,000,000	補委	厚生労働省
トロンボモジュリン- $\alpha$ を応用した劇症型感染症とDICの新規治療法の開発	榎屋友幸	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超高感度光ポンピング磁気センサを用いた完全非接触型3次元断層画像化技術の開発	今井寛	医学部附属病院	50,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超高感度光ポンピング磁気センサを用いた完全非接触型3次元断層画像化技術の開発	岩下義明	医学部附属病院	50,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
酸化ストレス応答性lncRNAを介した薬物動態制御タンパク質の発現調節機構の解明	池村健治	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
薬物間相互作用を利用したシスプラチン腎障害の新規予防法開発	奥田真弘	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病腎症におけるプロテインSによるマクロファージを介する炎症抑制機序の解析	矢野裕	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
東アジア共同によるNK/T細胞リンパ腫新世代治療の最適化	山口素子	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子改変同種リンパ球による移植後再発腫瘍治療モデル開発と安全性基盤の確立	俵功	医学部附属病院	1,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

好塩基球を用いた薬疹の新規診断法の確立及びそのメカニズムの解明	欠田成人	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症の認知障害の解明-変化検出とその抑制に着目して	元村英史	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超低線量4DシネCTによる心筋プリンシパルストレイン解析の開発と心不全への応用	北川覚也	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝動脈灌流・門脈灌流と肝細胞機能の統合的診断法の開発と肝切除術前評価への応用	市川泰崇	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
拡張型心筋症の詳細な病態把握に役立つ心臓MRI定量解析法の開発	石田正樹	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IL-17による腫瘍間質細胞を介した乳癌肺転移促進機構の解明と治療モデルの開発	齋藤佳菜子	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌合併潰瘍性大腸炎患者の早期診断を目指した新たなスクリーニング方法の確立	問山裕二	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的口腔内細菌叢の解析から検証する大腸癌発症の機序	近藤哲	医学部附属病院	2,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新しい非侵襲モニターによる心臓再同期療法の遠隔期予後の予測	亀井政孝	医学部附属病院	30,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腸管壁内の生体内微小循環解析からみた壊死性腸炎の病態解明と治療戦略	小池勇樹	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新人看護師のリアリティショック軽減に向けたSOCとソーシャルサポート認識への介入	石倉夏海	医学部附属病院	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小動物用超音波イメージングを応用した胎仔心不全の病態解明及び新規治療法の開発	三好剛一	医学部附属病院	1,073,525	補委	独立行政法人日本学術振興会
ガレクテン-3のくも膜下出血後早期脳損傷発生メカニズムにおける役割の解明	芝真人	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎児発育不全に対するタダラフィル母体経口投与に関する臨床試験	久保倫子	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
患者視点に基づいた外科医療の質評価に関する研究	兼児敏浩	医学部附属病院	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳活動を指標にした感覚情報処理抑制系の解明	元村英史	医学部附属病院	288,868	補委	独立行政法人日本学術振興会
聴覚変化検出からみたうつ病の神経基盤	元村英史	医学部附属病院	250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌に対するミブリプラチン・リビオドール懸濁液動注後経皮的ラジオ波凝固療法	山中隆嗣	医学部附属病院	658,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精神障害の親と暮らす子供が安心して支援に繋がるための体制づくり	鈴木大	医学部附属病院	169,830	補委	独立行政法人日本学術振興会
境界型肺高血圧症における予後規定因子の同定と早期治療効果に関する検討	山田典一	医学部附属病院	1,064,438	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗凝固療法不要な、自己組織による内皮化人工血管の作成、臨床応用	小沼武司	医学部附属病院	574,818	補委	独立行政法人日本学術振興会
三重県地域がん登録情報活用事業	中瀬一則	医学部附属病院	21,510,000	補委	三重県
がん検診受診促進・精度管理事業	伊藤正明	医学部附属病院	5,839,444	補委	三重県
医科歯科連携推進人材育成事業	中瀬一則	医学部附属病院	900,000	補委	三重県
三重県感染対策支援ネットワーク事業	田辺正樹	医学部附属病院	799,200	補委	三重県
三重県肝疾患診療地域連携体制強化事業	伊藤正明	医学部附属病院	12,620,936	補委	三重県
肝炎情報センター戦略的強化事業	伊藤正明	医学部附属病院	955,000	補委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター (肝炎情報センター)
周産期医療ネットワークシステム運営研究事業(妊産婦)	池田智明	医学部附属病院	3,313,440	補委	三重県

がん医療水準的てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	中瀬一則	医学部附属病院	1,784,000	補委	三重県
がん診療連携拠点病院機能強化事業	中瀬一則	医学部附属病院	36,680,000	補委	厚生労働省
小児がん拠点病院機能強化事業	中瀬一則	医学部附属病院	32,855,000	補委	厚生労働省
三重県新人看護職員研修事業	伊藤正明	医学部附属病院	1,463,000	補委	三重県
医療情報データベース構築事業	伊藤正明	医学部附属病院	21,546,284	補委	三重県
認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	富本秀和	医学部附属病院	9,240,000	補委	三重県
ICTを活用した緊密ながん医療連携推進事業	中瀬一則	医学部附属病院	940,000	補委	三重県
小児在宅医療・福祉連携事業	岩本彰太郎	医学部附属病院	18,179,000	補委	三重県
総合診療医広域育成拠点整備事業	伊藤正明	医学部附属病院	3,316,000	補委	三重県
認知症サポート医フォローアップ研修事業	吉丸公子	医学部附属病院	400,000	補委	公益社団法人三重県医師会
エイズ治療拠点病院等に対する研修・啓発及び医療情報提供事業	大石晃嗣	医学部附属病院	700,000	補委	三重県
末梢血幹細胞採取施設事業	大石晃嗣	医学部附属病院	15,597,000	補委	三重県
コミュニケーション支援事業	内田恵一	医学部附属病院	243,480	補委	三重県
医療研究開発推進事業	西川政勝	医学部附属病院	3,845,385	補委	三重県
Stage III 結腸癌切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX療法対してはXELOX療法における5-FU抵抗がんおよびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 AGHEVE Trial (JPMC47-1202-G3)	問山裕二	医学部附属病院	25,048	補委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
International Study for treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010 (InReALL SR 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第III相国際共同臨床研究)	豊田秀実	医学部附属病院	373,842	補委	独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター
安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究	伊藤正明	医学部附属病院	249,231	補委	公益在団法人循環器病研究振興財団
日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査 (JAMIR前向き研究)	伊藤正明	医学部附属病院	195,231	補委	公益在団法人循環器病研究振興財団
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究 J-DOIT3 (追跡)	矢野裕	医学部附属病院	600,000	補委	公益財団法人日本糖尿病財団
分化型甲状腺癌を対象としたレンパチニブの治療効果探索のためのコホート研究	水野聡朗	医学部附属病院	49,846	補委	公益財団法人ハプリックヘルスリサーチセンター
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の新規難治性病型に対する治療研究	山口素子	医学部附属病院	8,761,601	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
治療の実施に関する研究 (G-CSF) 急性骨髄損傷患者に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検並行群間比較試験第III相試験	明田浩司	医学部附属病院	482,514	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (公益社団法人 日本医師会治療促進センター)
治療の実施に関する研究 (ザルトプロフェン) びまん性腫瘍性巨細胞腫 (色素性絨毛絨胎性浮腫) 及び根治切除不能限局型腫瘍性巨細胞腫 (腫瘍巨細胞腫) 患者に対するザルトプロフェンのプラセボ対照ランダム化二重盲検比較試験 (第II相試験)	中村知樹	医学部附属病院	530,277	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (公益社団法人 日本医師会治療促進センター)
小児再発急性リンパ白血球の標準治療確立を目的としたICH-GCP準拠の国際共同臨床試験	豊田秀実	医学部附属病院	400,000	補委	独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター
HIV感染者等保険福祉相談事業 (エイズ中核拠点病院相談事業)	大石晃嗣	医学部附属病院	750,000	補委	公益財団法人エイズ予防財団
EGFR阻害薬による瘡瘍様皮膚炎に対する治療方法の検討	小林哲	医学部附属病院	550,000	補委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
急性リンパ性白血病におけるフローサイトメトリー法による微小残存病変の診断の確立	出口隆生	医学部附属病院	500,000	補委	学校法人聖路加国際大学
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発と標準治療確立のための多施設共同研究	山口素子	医学部附属病院	1,500,000	補委	国立研究開発法人 国立がん研究センター

ゲノム医療の実装に向けた統合DBの最適化とゲノム医療従事者の育成(先進ゲノム医療実装施設の構築)	中谷中	医学部附属病院	1,384,616	補委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
早期胃癌に対する画期的な個別化・超低侵襲手術法の開発と検証/適格例の登録とプロトコール治療	大井正貴	医学部附属病院	461,539	補委	学校法人慶応義塾大学
先天性横隔膜ヘルニアにおける最適な人工換気法・手術時期・手術方法に関する研究	内田恵一	医学部附属病院	210,000	補委	国立大学法人 大阪大学
重症肺高血圧症モデルに対する治療標的遺伝子の検索	三谷義英	医学部附属病院	200,000	補委	国立大学法人 千葉大学
がんゲノム個別化医療の実現に向けた遺伝子診断共通カリキュラム構築と教育・研修プログラムの実証的開発研究	中谷中	医学部附属病院	4,331,000	補委	近畿大学
乳児ALLIにおけるフローサイトメトリー(FCM)法による微小残存病変の測定	出口隆生	医学部附属病院	115,385	補委	国立大学法人 大阪大学
小児がんの登録・中央診断の推進を基盤とする病態解明と先駆的診断法開発	出口隆生	医学部附属病院	2,600,000	補委	国立成育医療研究センター
TAMIに対するフローサイトメトリー法(FCM)を用いた微小残存病変(MRD)測定法の確立	出口隆生	医学部附属病院	307,693	補委	国立大学法人 名古屋大学
J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	矢野裕	医学部附属病院	300,000	補委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
中枢神経系機能性疾患における三者間シナプス伝達機能障害仮説の構築	岡田元宏	医学系研究科	3,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血栓症発症を予測するために、前血栓症状態/過凝固症の検討	和田英夫	医学系研究科	2,830,484	補委	独立行政法人日本学術振興会
分子遺伝子学を導入したロコモティブシンドローム疫学調査	須藤啓広	医学系研究科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
妊娠高血圧症候群に合併した周産期心筋症の発生機序と血管障害者マーカーの探索研究	池田智明	医学系研究科	20,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
実験的肺高血圧における肺動脈血管の病態解析	丸山一男	医学系研究科	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性脳低灌流状態における微小脳循環調節機構の解明	矢田健一郎	医学系研究科	1,629,707	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポリオウイルスを用いた神経芽腫の新しい治療法の研究	豊田秀実	医学系研究科	978,490	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌のTCR遺伝子導入細胞療法との併用増強効果を起こすがんワクチンの最適化	影山慎一	医学系研究科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肉腫のエクソソームは本当に前転移ニッチを“教育”するのか？	柿本拓也	医学系研究科	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
疾患関連リプログラミングによる前立腺癌不均一性の獲得機構	有馬公伸	医学系研究科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自覚症状の言えない知的障害者の健康危険サインキャッチへの挑戦	洪英在	医学系研究科	292,440	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺癌に対する化学放射線治療が癌微小環境に与える影響の探索と治療への応用	村田泰洋	医学系研究科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Art for Ages:高齢者のWell-beingと音楽実践の学際的研究	田部井賢一	医学系研究科	50,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HF10ウイルスの抗腫瘍効果における新たな免疫因子の役割	珠玖洋	医学系研究科	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ナノゲルハイブリッド材料の創製と医療応用	珠玖洋	医学系研究科	3,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
障害肝細胞から分泌されるヘパトソームはアルコール性肝炎の病態進行に寄与する	江口暁子	医学系研究科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
線維細胞に着目した同種造血幹細胞移植後臓器線維化メカニズムの解明と制御法の開発	伊野和子	医学系研究科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん微小環境の免疫抑制機構に抵抗性のCAR-T細胞による固形がん治療	王立楠	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規免疫応答測定法を利用した複合療法開発への基盤研究	宮原慶裕	医学系研究科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

ケモカインと神経伝達物質による骨髄由来単球系細胞制御と炎症関連大腸癌の発症抑制	榎屋正浩	医学系研究科	1,000,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
掌握運動が左室駆出率が保持された心不全患者の血圧や運動耐容能に与える効果の検討	藤本直紀	医学系研究科	2,410,816	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
高解像度3次元血管壁MRIによる頸部頸動脈プラークの定量法の開発	前田正幸	医学系研究科	1,446,110	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
放射線治療後の心臓障害の診断システムの開発と臨床応用	野本由人	医学系研究科	1,518,052	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
snoRNAを用いた新たな胃癌診断・予後マーカーの確立	今岡裕基	医学系研究科	500,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
直腸癌術前化学放射線療法による癌間質変化と治療抵抗性・再発機序の解明	三枝晋	医学系研究科	1,615,167	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌における新規免疫治療PD-1/PD-L1経路阻害剤の効果予測マーカーの検証	廣純一郎	医学系研究科	1,379,261	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
生体蛍光染色剤とレーザー内視顕微鏡によるリアルタイム光学的組織診断法の開発	田中光司	医学系研究科	1,350,308	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
肝虚血再灌流障害におけるPAR-1とS1PR1の作用機序の解明	栗山直久	医学系研究科	1,400,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
新たなコンセプトに基づいたpH反応性リポソームによる悪性骨軟部腫瘍への治療戦略	浅沼邦洋	医学系研究科	1,300,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
実験的肺高血圧に対する亜硝酸依存性NO合成機構の賦活による治療	張尔泉	医学系研究科	1,100,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
全エクソーム解析による原発性線毛運動不全症の原因遺伝子の探索	竹内万彦	医学系研究科	1,218,648	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
網膜電図装置RETevalで測定したフリッカERGの健常者における基準値の解明	加藤久美子	医学系研究科	1,636,538	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
イカ巨大軸索・マウス軸索を用いた即時軸索機能回復のための軸索融合法に関する研究	成島三長	医学系研究科	1,217,825	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
細胞内抗原を認識可能とする抗体によるキメラ抗原受容体T細胞療法の開発	赤堀泰	医学系研究科	1,400,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
マイクロMRIを応用したアミロイド血管症と微小病変のex vivoイメージング	富本秀和	医学系研究科	1,676,735	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
癌特異的エクソーム包埋遺伝子情報をもとにした大腸癌診断ならびに治療戦略の確立	楠正人	医学系研究科	1,403,241	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア機能障害を標的とする難聴治療法の開発	笹川翔太	医学系研究科	900,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
疲労・細胞外小胞マーカーを用いた心身双方の疾患予防に関する調査・介入研究	江口暁子	医学系研究科	450,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
画像音声認識技術を使用した非言語・準言語コミュニケーションの有用性に係る実証研究	竹村洋典	医学系研究科	900,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
中壮年からのロコモ検診、ロコモ予防	西村明展	医学系研究科	1,300,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
十二指腸濾胞性リンパ腫における腫瘍形成機構の解明と腫瘍起源の探索	宮崎香奈	医学系研究科	1,900,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
アルコール性肝障害における動脈硬化発症機序の解明:肝由来小胞体封入病態情報の関与	竹井謙之	医学系研究科	1,900,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
浸潤性膵管癌の生物学的悪性度からみた新規臨床病期システムの確立とその治療応用	伊佐地秀司	医学系研究科	700,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
膠原病関連境界型肺高血圧症の進行予測因子の同定と早期治療効果に関する検討	山田典一	医学系研究科	1,000,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
MUC5B過剰発現マウスを用いた肺線維症の病態解明と治療法の開発	田口修	医学系研究科	1,400,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
WT1を標的とした急性骨髄性白血病のキメラ抗原受容体発現T細胞療法の基盤構築	片山直之	医学系研究科	1,400,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
BMP2遺伝子改変ラットを用いた肺高血圧血管病変形成機序の解明	澤田博文	医学系研究科	1,400,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会



重症皮膚炎の合併症としての関節症、内臓病変の成因の追求と治療法の検討	山中恵一	医学系研究科	1,200,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
Abscopal効果の効果的な照射/ワクチン最適照射装置の探索	渡辺隆	医学系研究科	1,300,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
エクソソームに包埋された核酸を用いた胃癌早期診断法の確立	吉山繁幸	医学系研究科	1,800,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍関連好中球に着目した胃癌リンパ節転移機構の解明と新規治療法の開発	毛利靖彦	医学系研究科	1,300,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
3次元血流領域における流れの複雑性の定量による脳動脈瘤増大・破裂機構の解明	鈴木秀謙	医学系研究科	1,100,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
テネシシンCのドメイン(TNIII A2)を用いた軟骨治療への応用	長谷川正裕	医学系研究科	1,300,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
麻酔手技の定量化と人工知能を用いた自動解析による学習効果の判定に関する研究	宮部雅幸	医学系研究科	1,700,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
実験的肺高血圧に対するTRPVチャネルを標的とした解析と治療	丸山一男	医学系研究科	750,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
前立腺増殖機構の安定化を目指した間質分化誘導療法の開発	杉村芳樹	医学系研究科	1,300,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
嗅粘膜移植と炎症制御による神経再生を併用する神経性嗅覚障害の新規治療法開発研究	小林正佳	医学系研究科	1,000,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
皮膚電極網膜電図装置を用いた網膜内層機能の評価とその汎用性の検討	生杉謙吾	医学系研究科	1,200,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
多職種連携カンファレンスに必要なとされる看護師の能力と基礎看護教育の役割の明確化	後藤道子	医学系研究科	50,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
リケッチア感染症のTh2免疫系の抑制機構に関する研究	近藤誠	医学系研究科	1,600,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
ガン悪液質による骨格筋萎縮に対するNF-κB Decoy ONDの効果の検討	塚本正	医学系研究科	1,700,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
音楽の認知症予防・進行抑制作用の機序の解明と音楽療法プログラムの開発	田部井賢一	医学系研究科	1,600,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
視細胞変性疾患における網膜電図(ERG)の新しい概念確立に関する研究	近藤峰生	医学系研究科	1,800,000	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌発癌pathwayから検証した大腸癌前癌病変の非侵襲的血清診断法の確立	楠正人	医学系研究科	1,232,968	(補委)	独立行政法人日本学術振興会
慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究	笠井裕一	医学系研究科	200,000	(補委)	厚生労働省
全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為にNCD長	伊佐地秀司	医学系研究科	120,000	(補委)	厚生労働省
小児がん拠点病院等の連携による移行期を含めた小児がん医療提供体制整備に関する研究	平山雅浩	医学系研究科	300,000	(補委)	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	須藤啓広	医学系研究科	100,000	(補委)	厚生労働省
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	和田英夫	医学系研究科	500,000	(補委)	厚生労働省
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	近藤峰生	医学系研究科	400,000	(補委)	厚生労働省
乳幼児突然死症候群(SIDS)を含む睡眠中の乳幼児死亡を予防するための効果的な施策に関する研究	加藤稲子	医学系研究科	800,000	(補委)	厚生労働省
医療的ケア児に対する教育機関における看護ケアに関する研究	岩本彰太郎	医学系研究科	910,000	(補委)	厚生労働省
周産期搬送に関する研究	池田智明	医学系研究科	1,600,000	(補委)	厚生労働省
三重地域総合診療網の全国・世界発信	竹村洋典	医学系研究科	30,800,000	(補委)	文部科学省
地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成	丸山一男	医学系研究科	12,675,000	(補委)	文部科学省

高度がん医療を先導するがん医療人養成	片山直之	医学系研究科	23,500,000	補委	文部科学省
三重県プライマリ・ケアセンター事業	竹村洋典	医学系研究科	9,455,000	補委	三重県
先天性代謝異常等検査事業(先天性甲状腺機能低下症)	平山雅浩	医学系研究科	10,216,800	補委	三重県
先天性代謝異常等検査事業(先天性副腎過形成症)	平山雅浩	医学系研究科	10,216,800	補委	三重県
名張市において望まれる地域医療に関する調査研究事業	竹村洋典	医学系研究科	2,307,692	補委	名張市
生活習慣病予防重点プロジェクト特定健診受診率向上事業	伊藤正明	医学系研究科	4,615,385	補委	名張市
頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為比較試験(CAS-CARE)	鈴木秀謙	医学系研究科	11,930	補委	公益財団法人先端医療振興財団
がん免疫治療用バイオ創薬開発	珠玖洋	医学系研究科	5,000,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
妊娠高血圧症候群と胎児発育不全の克服を目的とした、ホスホジエステラーゼ5阻害剤タダラフィルによる新規予防法と治療法の開発	池田智明	医学系研究科	4,761,819	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
母子感染に対する母子保健体制構築と医療技術のための研究	池田智明	医学系研究科	630,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人 東京大学)
医薬品等の安全性評価に関する in vitro 試験(代替法)の開発と国際標準化及び普及促進に関する研究	田中利男	医学系研究科	1,000,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
遺伝性脳小血管病CADASILのデータベース構築と運用	富本秀和	医学系研究科	9,607,693	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性肉腫に対するワクチン併用TCR遺伝子改変T細胞輸注療法の多施設共同医師主導試験	影山慎一	医学系研究科	91,159,818	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
CHIP/NY-ESO-0ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験	影山慎一	医学系研究科	48,521,912	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
適時適切な医療・ケアを目指した、認知症の人等の全国的な情報登録・追跡を行う研究	富本秀和	医学系研究科	923,077	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)
認知症の増悪に関わる脳アミロイドアンギオパシー:モデル動物を駆使した糖鎖標的的創薬意義の解明	富本秀和	医学系研究科	764,640	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人 理化学研究所)
高齢者における認知症と脳血管障害の発症に脳小血管病が関与する臨床的意義の解明	富本秀和	医学系研究科	900,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
癌抗原特異的T細胞受容体(TCR)遺伝子導入T細胞輸注療法	珠玖洋	医学系研究科	18,181,819	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(タカラバイオ株式会社)
間葉系がん間質に影響を与えるマイクロ(mi)RNAの同定とその臨床応用	瀬尾尚宏	医学系研究科	2,000,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人名古屋大学)
小児骨髄系腫瘍の臨床試験(AML-12等)における多次元フローサイトメトリー法による予後因子同定法を確立する。	岩本彰太郎	医学系研究科	1,923,077	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人京都大学)
多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立	伊佐地秀司	医学系研究科	153,847	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人九州大学)
TCR改変T細胞の臨床応用を通して考える基盤整備の必要性の検討	珠玖洋	医学系研究科	500,000	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	中村知樹	医学系研究科	153,847	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人岡山大学)
成人T細胞白血病/リンパ腫に対するT細胞受容体遺伝子導入リンパ球輸注療法の開発	宮原慶裕	医学系研究科	60,272,728	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性がんの有効なナノ工学と免疫療法の融合療法の開発	原田直純	医学系研究科	23,200,000	補委	国立大学法人京都大学
難治性遺伝性視神経症に対するヒト多能性幹細胞由来視神経細胞を用いた神経保護薬の創薬	近藤峰生	医学系研究科	3,000,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立成育医療研究センター)
個別がん変異に対するT細胞応答およびネオアンチゲンエピトープ解析と、それらを用いた複合的がん免疫療法の開発	珠玖洋	医学系研究科	7,346,154	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立大学法人長崎大学)
Interim PETIに基づく初発進行期ホジキンリンパ腫に対するABVD療法およびABVD/増量BEACOPP療法の非ランダム化検証的試験:JCOG1305試験	宮崎香奈	医学系研究科	500,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立行政法人国立病院機構名古屋医療センター)

特発性血栓症患者のゲノム情報を用いた層別化による病態解明研究	和田英夫	医学系研究科	1,900,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立循環器病研究センター)
周産期心筋症の臨床研究(オミックス・生化学解析)-基礎研究(モデル動物)融合による世界初早期診断マーカー・治療法開発研究	池田智明	医学系研究科	1,600,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立循環器病研究センター)
グリアとシナプスの機能解析	岡田元宏	医学系研究科	615,385	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人 東京医科歯科大学)
「NY-ESO-1抗原特異的TCR遺伝子導入Tリンパ球輸注による同種移植後再発難治性成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした多施設共同臨床第1相医師主導治験」	珠玖洋	医学系研究科	2,009,091	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人長崎大学)
T細胞エクソソームによるがん転移阻害剤	珠玖洋	医学系研究科	27,273,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
免疫細胞エクソソームの生体応答解析	瀬尾尚宏	医学系研究科	11,000,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
慢性脳虚血モデルとCAA患者のAPP770の解析	富本秀和	医学系研究科	1,158,437	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(国立研究開発法人 福島県立医科大学)

計228件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Takahashi N, Usui M, Naitoh K, 他	肝胆膵・移植外科	Elevated Soluble Platelet Glycoprotein VI Levels in Patients After Living Donor Liver Transplantation.	Clin Appl Thromb Hemost. 2017 Apr;23(3):274-281. doi: 10.1177/1076029615604047. Epub 2016 Jul 9.	Original Article
2	Wakabayashi H, Nakamura T, Nishimura A, 他	整形外科	Isolated proximal tibiofibular joint arthritis in a patient with juvenile idiopathic arthritis: A case report.	Mod Rheumatol. 2018 Jan;28(1):203-206. doi: 10.3109/14397595.2015.108 3149. Epub 2015 Sep 18.	Original Article
3	Hur K, Toiyama Y, Okugawa Y, 他	消化管外科、小児外科	Circulating microRNA-203 predicts prognosis and metastasis in human colorectal cancer.	Gut. 2017 Apr;66(4):654- 665. doi: 10.1136/gutjnl- 2014-308737. Epub 2015 Dec 23.	Original Article
4	Habe K, Wada H, Matsumoto T, 他	皮膚科	Plasma ADAMTS13, von Willebrand Factor (VWF), and VWF Propeptide Profiles in Patients With Connective Tissue Diseases and Antiphospholipid Syndrome.	Clin Appl Thromb Hemost. 2017 Sep;23(6):622-630. doi: 10.1177/1076029615625832. Epub 2016 Jan 11.	Original Article
5	Ikejiri M, Wada H, Kamimoto Y, 他	中央検査部	Protection From Pregnancy Loss in Women With Hereditary Thrombophilia When Associated With Fibrinogen Polymorphism Thr331Ala.	Clin Appl Thromb Hemost. 2017 Jul;23(5):494-495. doi: 10.1177/1076029616645400. Epub 2016 Apr 20. No abstract available.	Original Article
6	Aota T, Wada H, Yamashita Y, 他	血液内科、腫瘍内科	An Evaluation of the Modified Diagnostic Criteria for DIC Established by the Japanese Society of Thrombosis and Hemostasis.	Clin Appl Thromb Hemost. 2017 Sep;23(6):579-584. doi: 10.1177/1076029616654263. Epub 2016 Jun 14.	Original Article

7	Nakatsuka Y, Kawakita F, Yasuda R, 他	脳神経外科	Preventive effects of cilostazol against the development of shunt-dependent hydrocephalus after subarachnoid hemorrhage.	J Neurosurg. 2017 Aug;127(2):319-326. doi: 10.3171/2016.5.JNS152907. Epub 2016 Aug 5.	Original Article
8	Kondo M, Akachi S, Goto H, 他	皮膚科	Case of dengue fever missed at the initial screening of an endemic area but developed later in Japan.	J Dermatol. 2017 Jul;44(7):847-848. doi: 10.1111/1346-8138.13562. Epub 2016 Aug 29. No abstract available.	Original Article
9	Suzuki H, Shiba M, Nakatsuka Y, 他	脳神経外科	Higher Cerebrospinal Fluid pH may Contribute to the Development of Delayed Cerebral Ischemia after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Transl Stroke Res. 2017 Apr;8(2):165-173. doi: 10.1007/s12975-016-0500-8. Epub 2016 Sep 14.	Original Article
10	Ida-Eto M, Hara N, Ohkawara T, 他	発生再生医学	Mechanism of auditory hypersensitivity in human autism using autism model rats.	Pediatr Int. 2017 Apr;59(4):404-407. doi: 10.1111/ped.13186. Epub 2016 Dec 12.	Original Article
11	Aota T, Wada H, Fujimoto N, 他	血液内科、腫瘍内科	Evaluation of the Diagnostic Criteria for the Basic Type of DIC Established by the Japanese Society of Thrombosis and Hemostasis.	Clin Appl Thromb Hemost. 2017 Oct;23(7):838-843. doi: 10.1177/1076029616672582. Epub 2016 Oct 11.	Original Article
12	Nakase K, Kita K, Kyo T, 他	がんセンター	High expression of interleukin-2 receptor $\alpha$ -chain (CD25) in myelodysplastic syndrome preceding acute myeloid leukemia and chronic myeloid leukemia in myeloid blast crisis.	Leuk Lymphoma. 2017 May;58(5):1268-1270. doi: 10.1080/10428194.2016.1236377. Epub 2016 Oct 13. No abstract available.	Original Article
13	Kawakita F, Fujimoto M, Liu L, 他	脳神経外科	Effects of Toll-Like Receptor 4 Antagonists Against Cerebral Vasospasm After Experimental Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Mol Neurobiol. 2017 Oct;54(8):6624-6633. doi: 10.1007/s12035-016-0178-7. Epub 2016 Oct 13.	Original Article

14	Tanaka H, Katsuragi S, Tanaka K, 他	産科婦人科	Impact of pregnancy on the size of small cerebral aneurysm.	J Matern Fetal Neonatal Med. 2017 Nov;30(22):2759-2762. doi: 10.1080/14767058.2016.1262345. Epub 2016 Dec 14.	Original Article
15	Hori H, Kudoh T, Nishimura S, 他	小児科	Acute and late toxicities of pirarubicin in the treatment of childhood acute lymphoblastic leukemia: results from a clinical trial by the Japan Association of Childhood Leukemia Study.	Int J Clin Oncol. 2017 Apr;22(2):387-396. doi: 10.1007/s10147-016-1062-1. Epub 2016 Nov 17.	Original Article
16	Sakaida H, Matsuda Y, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Sonographic appearance of pyomyositis of the sternocleidomastoid muscle: A case report.	J Clin Ultrasound. 2017 Oct;45(8):520-523. doi: 10.1002/jcu.22428. Epub 2016 Nov 22.	Original Article
17	Takeuchi T, Yamaguchi M, Kobayashi K, 他	血液内科、腫瘍内科	MYD88, CD79B, and CARD11 gene mutations in CD5-positive diffuse large B-cell lymphoma.	Cancer. 2017 Apr 1;123(7):1166-1173. doi: 10.1002/cncr.30404. Epub 2016 Dec 4.	Original Article
18	Tanaka H, Katsuragi S, Osato K, 他	産科婦人科	Value of fibrinogen in cases of maternal death related to amniotic fluid embolism.	J Matern Fetal Neonatal Med. 2017 Dec;30(24):2940-2943. doi: 10.1080/14767058.2016.1269166. Epub 2017 Jan 12.	Original Article
19	Wakabayashi H, Inada H, Nishioka Y, 他	整形外科	Maintenance of efficacy and safety with subcutaneous golimumab in rheumatoid arthritis patients with low disease activity who previously received TNF inhibitors.	Clin Rheumatol. 2017 Apr;36(4):941-946. doi: 10.1007/s10067-016-3502-8. Epub 2016 Dec 9.	Original Article
20	Sakaida H, Yuasa H, Fukutome K, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Pharyngolaryngeal ulcers associated with the improper use of alendronate.	Auris Nasus Larynx. 2017 Dec;44(6):762-765. doi: 10.1016/j.anl.2016.11.002. Epub 2016 Dec 10.	Case report

21	Nishikawa M, Isshiki T, Kimura T, 他	臨床研究開発センター	Risk of bleeding and repeated bleeding events in prasugrel-treated patients: a review of data from the Japanese PRASFIT studies.	Cardiovasc Interv Ther. 2017 Apr;32(2):93-105. doi: 10.1007/s12928-016-0452-7. Epub 2017 Jan 17. Review.	Review
22	Koike Y, Li B, Lee C, 他	消化管外科、小児外科	Gastric emptying is reduced in experimental NEC and correlates with the severity of intestinal damage.	J Pediatr Surg. 2017 May;52(5):744-748. doi: 10.1016/j.jpedsurg.2017.01.031. Epub 2017 Jan 29.	Original Article
23	Ukai T, Shikata S, Nakayama T, 他	地域医療学	A comparison of the results of prospective and retrospective cohort studies in the field of digestive surgery.	Surg Today. 2017 Jul;47(7):789-794. doi: 10.1007/s00595-017-1479-9. Epub 2017 Feb 15.	Original Article
24	Morimoto S, Hatsuta H, Kokubo Y, 他	腫瘍病理学	Unusual tau pathology of the cerebellum in patients with amyotrophic lateral sclerosis/parkinsonism-dementia complex from the Kii Peninsula, Japan.	Brain Pathol. 2018 Mar;28(2):287-291. doi: 10.1111/bpa.12500. No abstract available.	Original Article
25	Liu L, Kawakita F, Fujimoto M, 他	脳神経外科	Role of Periostin in Early Brain Injury After Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Stroke. 2017 Apr;48(4):1108-1111. doi: 10.1161/STROKEAHA.117.016629. Epub 2017 Feb 27. Erratum in: Stroke. 2017 Sep;48(9):e273.	Original Article
26	Iwamoto Y, Ishii K, Kanda H, 他	腎泌尿器外科	Combination treatment with naftopidil increases the efficacy of radiotherapy in PC-3 human prostate cancer cells.	J Cancer Res Clin Oncol. 2017 Jun;143(6):933-939. doi: 10.1007/s00432-017-2367-9. Epub 2017 Feb 27.	Original Article
27	Nakamura M, Yamada N, Oda E, 他	循環器内科、腎臓内科	Predictors of venous thromboembolism recurrence and the bleeding events identified using a Japanese healthcare database.	J Cardiol. 2017 Aug;70(2):155-162. doi: 10.1016/j.jjcc.2016.10.012. Epub 2017 Feb 27.	Original Article

28	Gyoten K, Mizuno S, Nagata M, 他	肝胆脾・移植外科	Significance of Simultaneous Splenic Artery Resection in Left-Sided Portal Hypertension After Pancreaticoduodenectomy with Combined Portal Vein Resection.	World J Surg. 2017 Aug;41(8):2111-2120. doi: 10.1007/s00268-017-3916-8.	Original Article
29	Naito Y, Wakabayashi H, Kato S, 他	整形外科	Alendronate inhibits hyperalgesia and suppresses neuropeptide markers of pain in a mouse model of osteoporosis.	J Orthop Sci. 2017 Jul;22(4):771-777. doi: 10.1016/j.jos.2017.02.001. Epub 2017 Feb 28.	Original Article
30	Ito H, Mizumoto T, Sawada Y, 他	心臟血管外科、呼吸器外科	Determinants of recurrent tricuspid regurgitation following tricuspid valve annuloplasty during mitral valve surgery.	J Card Surg. 2017 Apr;32(4):237-244. doi: 10.1111/jocs.13117. Epub 2017 Mar 8.	Original Article
31	Yamanaka K, Yamagiwa A, Akeda T, 他	皮膚科	Neutrophils are not the dominant interleukin-17 producer in psoriasis.	J Dermatol. 2017 Jul;44(7):e170-e171. doi: 10.1111/1346-8138.13807. Epub 2017 Mar 11. No abstract available.	Original Article
32	Hasegawa M, Wada H, Miyazaki S, 他	整形外科	The Evaluation of Fibrin-Related Markers for Diagnosing or Predicting Acute or Subclinical Venous Thromboembolism in Patients Undergoing Major Orthopedic Surgery.	Clin Appl Thromb Hemost. 2018 Jan;24(1):107-114. doi: 10.1177/1076029616674824. Epub 2016 Oct 21.	Original Article
33	Tanimura M, Dohi K, Imanaka-Yoshida K, 他	循環器内科、腎臓内科	Fulminant Myocarditis With Prolonged Active Lymphocytic Infiltration After Hemodynamic Recovery.	Int Heart J. 2017 Apr 6;58(2):294-297. doi: 10.1536/ihj.16-225. Epub 2017 Mar 21.	Case report
34	Goto Y, Ishida M, Takase S, 他	放射線科	Comparison of Displacement Encoding With Stimulated Echoes to Magnetic Resonance Feature Tracking for the Assessment of Myocardial Strain in Patients With Acute Myocardial Infarction.	Am J Cardiol. 2017 May 15;119(10):1542-1547. doi: 10.1016/j.amjcard.2017.02.029. Epub 2017 Feb 28.	Original Article



35	Murata Y, Tanemura A, Kato H, 他	肝胆脾・移植外科	Superiority of stapled side-to-side gastrojejunostomy over conventional hand-sewn end-to-side gastrojejunostomy for reducing the risk of primary delayed gastric emptying after subtotal stomach-preserving pancreaticoduodenectomy.	Surg Today. 2017 Aug;47(8):1007-1017. doi: 10.1007/s00595-017-1504-z. Epub 2017 Mar 23.	Original Article
36	Ii N, Fuwa N, Toyomasu Y, 他	放射線腫瘍学	A Novel External Carotid Arterial Sheath System for Intra-arterial Infusion Chemotherapy of Head and Neck Cancer.	Cardiovasc Intervent Radiol. 2017 Jul;40(7):1099-1104. doi: 10.1007/s00270-017-1635-z. Epub 2017 Mar 29.	Original Article
37	Sugino Y, Yamakado K, Yamanaka T, 他	放射線科	Role of curative treatment in patients with intermediate-stage hepatocellular carcinoma.	Jpn J Radiol. 2017 May;35(5):254-261. doi: 10.1007/s11604-017-0628-9. Epub 2017 Mar 29.	Original Article
38	Tone S, Hasegawa M, Pezzotti G, 他	整形外科	Effect of e-beam sterilization on the in vivo performance of conventional UHMWPE tibial plates for total knee arthroplasty.	Acta Biomater. 2017 Jun;55:455-465. doi: 10.1016/j.actbio.2017.03.040. Epub 2017 Mar 27.	Original Article
39	Ikemura K, Oshima K, Enokiya T, 他	薬剤部	Co-administration of proton pump inhibitors ameliorates nephrotoxicity in patients receiving chemotherapy with cisplatin and fluorouracil: a retrospective cohort study.	Cancer Chemother Pharmacol. 2017 May;79(5):943-949. doi: 10.1007/s00280-017-3296-7. Epub 2017 Mar 31.	Original Article
40	Kasai Y, Fukui M, Takahashi K, 他	脊椎外科・医療工学	Verification of the sensitivity of functional scores for treatment results - Substantial clinical benefit thresholds for the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire (JOABPEQ).	J Orthop Sci. 2017 Jul;22(4):665-669. doi: 10.1016/j.jos.2017.02.012. Epub 2017 Mar 29.	Original Article
41	Sakaida H, Usui S, Matsuda Y, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Sonographic diagnosis of acute mastoiditis and subsequent retroauricular abscess in a pediatric cochlear implant recipient: A case report.	J Clin Ultrasound. 2017 Oct;45(8):515-519. doi: 10.1002/jcu.22442. Epub 2017 Apr 3.	Case report

42	Kobayashi Y, Hara N, Sugimoto R,他	保健管理センター	The Associations between Circulating Bile Acids and the Muscle Volume in Patients with Non-alcoholic Fatty Liver Disease (NAFLD).	Intern Med. 2017;56(7):755-762. doi: 10.2169/internalmedicine.56.7796. Epub 2017 Apr 1.	Original Article
43	Tanabe M, Nakamura A, Arai A, 他	医療安全・感染制御部	The Direct Comparison of Two Interferon-gamma Release Assays in the Tuberculosis Screening of Japanese Healthcare Workers.	Intern Med. 2017;56(7):773-779. doi: 10.2169/internalmedicine.56.7533. Epub 2017 Apr 1.	Original Article
44	Park EJ, Shimaoka M, Kiyono H.	分子病態学	MicroRNA-mediated dynamic control of mucosal immunity.	Int Immunol. 2017 Apr 1;29(4):157-163. doi: 10.1093/intimm/dxx019. Review.	Review
45	Nakamura M, Yamada N, Ito M.	循環器内科、腎臓内科	Direct Oral Anticoagulants for the Treatment of Venous Thromboembolism in Japan.	J Atheroscler Thromb. 2017 Jun 1;24(6):560-565. doi: 10.5551/jat.RV17005. Epub 2017 Apr 7. Review.	Review
46	Ono R, Masuya M, Ishii S,他	感染症制御医学・分子遺伝学	Eya2, a Target Activated by Plzf, Is Critical for PLZF-RARA-Induced Leukemogenesis.	Mol Cell Biol. 2017 Jun 15;37(13). pii: e00585-16. doi: 10.1128/MCB.00585-16. Print 2017 Jul 1.	Original Article
47	Kondo M, Nakagawa T, Yamanaka K, 他	皮膚科	Case with acute urticaria by red meat after Haemaphysalis longicornis bite.	J Dermatol. 2017 Jul;44(7):e168-e169. doi: 10.1111/1346-8138.13865. Epub 2017 Apr 17. No abstract available.	Original Article
48	Sugimoto M, Ichio A, Nunome T, 他	眼科	Two year result of intravitreal bevacizumab for diabetic macular edema using treat and extend protocol.	Medicine (Baltimore). 2017 Apr;96(16):e6406. doi: 10.1097/MD.00000000000006406.	Original Article

49	Gayle A, Shimaoka M.	分子病態学	Public Response to Scientific Misconduct: Assessing Changes in Public Sentiment Toward the Stimulus-Triggered Acquisition of Pluripotency (STAP) Cell Case via Twitter.	JMIR Public Health Surveill. 2017 Apr 20;3(2):e21. doi: 10.2196/publichealth.5980.	Original Article
50	Muraoka D, Seo N, Hayashi T, 他	遺伝子・免疫細胞治療学	Signal-transducing adaptor protein-2 promotes generation of functional long-term memory CD8+ T cells by preventing terminal effector differentiation.	Oncotarget. 2017 May 9;8(19):30766-30780. doi: 10.18632/oncotarget.15403.	Original Article
51	Wang Z, Sakakibara T, Yoshikawa T, 他	脊椎外科・医療工学	Do the Position and Orientation of the Crosslink Influence the Stiffness of Spinal Instrumentation?	Clin Spine Surg. 2017 May;30(4):176-180. doi: 10.1097/BSD.0000000000000046.	Original Article
52	Goto Y, Kitagawa K, Uno M, 他	放射線科	Diagnostic Accuracy of Endocardial-to-Epicardial Myocardial Blood Flow Ratio for the Detection of Significant Coronary Artery Disease With Dynamic Myocardial Perfusion Dual-Source Computed Tomography.	Circ J. 2017 Sep 25;81(10):1477-1483. doi: 10.1253/circj.CJ-16-1319. Epub 2017 Apr 25.	Original Article
53	Ikesugi K, Ichio T, Tsukitome H, 他	眼科	Annual incidences of visual impairment during 10-year period in Mie prefecture, Japan.	Jpn J Ophthalmol. 2017 Jul;61(4):293-298. doi: 10.1007/s10384-017-0517-x. Epub 2017 Apr 26.	Original Article
54	Iwamoto T, Morikawa T, Hioki M, 他	薬剤部	Performance evaluation of the compounding robot, APOTECaChemo, for injectable anticancer drugs in a Japanese hospital.	J Pharm Health Care Sci. 2017 Apr 24;3:12. doi: 10.1186/s40780-017-0081-z. eCollection 2017.	Original Article
55	Oki S, Toiyama Y, Okugawa Y, 他	消化管外科、小児外科	Clinical burden of preoperative albumin-globulin ratio in esophageal cancer patients.	Am J Surg. 2017 Nov;214(5):891-898. doi: 10.1016/j.amjsurg.2017.04.007. Epub 2017 Apr 25.	Original Article

56	Kainuma K, Kobayashi T, D'Alessandro- Gabazza CN, 他	免疫学	Beta-2 adrenergic agonist suppresses eosinophil-induced epithelial-to-mesenchymal transition of bronchial epithelial cells.	Respir Res. 2017 May 2;18(1):79. doi: 10.1186/s12931-017-0563-4.	Original Article
57	Hiraku Y, Nishikawa Y, Ma N, 他	環境分子医学	Nitrative DNA damage induced by carbon-black nanoparticles in macrophages and lung epithelial cells.	Mutat Res. 2017 Jun;818:7-16. doi: 10.1016/j.mrgentox.2017.04.002. Epub 2017 Apr 6.	Original Article
58	Wakabayashi H, Hasegawa M, Niimi R, 他	整形外科	The risk factor of preoperative deep vein thrombosis in patients undergoing total knee arthroplasty.	J Orthop Sci. 2017 Jul;22(4):698-702. doi: 10.1016/j.jos.2017.04.007. Epub 2017 May 3.	Original Article
59	Isoda K, Nakamura T, Yoshida K, 他	皮膚科	The efficacy of a lip balm containing pseudo-ceramide on the dry lips of sensitive skin-conscious subjects.	J Cosmet Dermatol. 2018 Feb;17(1):84-89. doi: 10.1111/jocd.12351. Epub 2017 May 9.	Original Article
60	Motomura E, Inui K, Nishihara M, 他	精神科神経科	Prepulse Inhibition of the Auditory Off-Response: A Magnetoencephalographic Study.	Clin EEG Neurosci. 2018 May;49(3):152-158. doi: 10.1177/1550059417708914. Epub 2017 May 10.	Original Article
61	Kitagami M, Yasuda R, Toma N, 他	脳神経外科	Impact of Hypertriglyceridemia on Carotid Stenosis Progression under Normal Low-Density Lipoprotein Cholesterol Levels.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2017 Aug;26(8):1793-1800. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2017.04.010. Epub 2017 May 8.	Original Article
62	Moriwaki K, Dohi K, Omori T, 他	循環器内科、腎臓内科	A Survival Case of Fulminant Right-Side Dominant Eosinophilic Myocarditis.	Int Heart J. 2017 May 31;58(3):459-462. doi: 10.1536/ihj.16-338. Epub 2017 May 12.	Case report

63	Sai K, Wang S, Kaito A, 他	神経再生医学・細胞情報学	Multiple roles of afadin in the ultrastructural morphogenesis of mouse hippocampal mossy fiber synapses.	J Comp Neurol. 2017 Aug 15;525(12):2719-2734. doi: 10.1002/cne.24238. Epub 2017 May 30.	Original Article
64	Tanioka S, Toma N, Sakaida H, 他	脳神経外科	A case of arteriovenous fistula of the cauda equina fed by the proximal radicular artery: anatomical features and treatment precautions.	Eur Spine J. 2018 Jul;27(Suppl 3):281-286. doi: 10.1007/s00586-017-5129-0. Epub 2017 May 13.	Original Article
65	Tanaka H, Kubo M, Nii M, 他	産科婦人科	Treatment using tadalafil for severe pre-eclampsia with fetal growth restriction.	J Obstet Gynaecol Res. 2017 Jul;43(7):1205-1208. doi: 10.1111/jog.13335. Epub 2017 May 15.	Case report
66	Wakabayashi H, Wakisaka S, Hiraga T, 他	整形外科	Decreased sensory nerve excitation and bone pain associated with mouse Lewis lung cancer in TRPV1-deficient mice.	J Bone Miner Metab. 2018 May;36(3):274-285. doi: 10.1007/s00774-017-0842-7. Epub 2017 May 17.	Original Article
67	Shah SA, Ishinaga H, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Clarithromycin inhibits TNF-alpha-induced MUC5AC mucin gene expression via the MKP-1-p38MAPK-dependent pathway.	Int Immunopharmacol. 2017 Aug;49:60-66. doi: 10.1016/j.intimp.2017.05.025. Epub 2017 May 25.	Original Article
68	Takegami N, Akeda K, Yamada J, 他	整形外科	RANK/RANKL/OPG system in the intervertebral disc.	Arthritis Res Ther. 2017 Jun 2;19(1):121. doi: 10.1186/s13075-017-1332-y.	Original Article
69	Tanaka K, Hamada Y, Nakamura M, 他	光学医療診療部	Hymenolepis nana infection detected by magnifying colonoscopy with narrow-band imaging (with video).	Gastrointest Endosc. 2017 Nov;86(5):923-924. doi: 10.1016/j.gie.2017.05.029. Epub 2017 May 30. No abstract available.	Case report

70	Shah SA, Ishinaga H, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Oxytetracycline Inhibits Mucus Secretion and Inflammation in Human Airway Epithelial Cells.	Chemotherapy. 2017;62(5):301-306. doi: 10.1159/000475983. Epub 2017 Jun 3.	Original Article
71	Uchida K, Ohtsuka Y, Yoden A, 他	消化管外科、小児外科	Immunosuppressive medication is not associated with surgical site infection after surgery for intractable ulcerative colitis in children.	Intractable Rare Dis Res. 2017 May;6(2):106-113. doi: 10.5582/irdr.2017.01012.	Original Article
72	Shimojo N, Hirokawa YS, Kanayama K, 他	病理部	Cytological features of adenocarcinoma admixed with small cell neuroendocrine carcinoma of the uterine cervix.	Cytojournal. 2017 May 26;14:12. doi: 10.4103/1742-6413.207139. eCollection 2017.	Original Article
73	Yamanaka K, Okada K, Nakanishi T, 他	皮膚科	Skin inflammation leads immunoglobulin G aggregation and deposition in multiple organs.	J Dermatol Sci. 2017 Oct;88(1):146-148. doi: 10.1016/j.jdermsci.2017.05.0 13. Epub 2017 May 29. No abstract available.	Original Article
74	Nishimura A, Ito N, Asanuma K, 他	整形外科	Do exercise habits during middle age affect locomotive syndrome in old age?	Mod Rheumatol. 2018 Mar;28(2):334-338. doi: 10.1080/14397595.2017.133 3670. Epub 2017 Jun 14.	Original Article
75	Suzuki H, Nakano F.	脳神経外科	To Improve Translational Research in Subarachnoid Hemorrhage.	Transl Stroke Res. 2018 Feb;9(1):1-3. doi: 10.1007/s12975-017-0546- 2. Epub 2017 Jun 16. No abstract available.	Original Article
76	Nakamori S, Dohi K, Ishida M, 他	循環器内科、腎臓内科	Native T1 Mapping and Extracellular Volume Mapping for the Assessment of Diffuse Myocardial Fibrosis in Dilated* Cardiomyopathy.	JACC Cardiovasc Imaging. 2018 Jan;11(1):48-59. doi: 10.1016/j.jcmg.2017.04.006. Epub 2017 Jun 14.	Original Article

77	Tanimura M, Dohi K, Fujimoto N, 他	循環器内科、腎臓内科	Effect of Anemia on Cardiovascular Hemodynamics, Therapeutic Strategy and Clinical Outcomes in Patients With Heart Failure and Hemodynamic Congestion.	Circ J. 2017 Oct 25;81(11):1670-1677. doi: 10.1253/circj.CJ-17-0171. Epub 2017 Jun 17.	Original Article
78	Ito H, Mizumoto T, Sawada Y, 他	心臓血管外科、呼吸器外科	Neuroprotective effect of pressure-oriented flow regulation and pH-stat management in selective antegrade brain perfusion during total aortic arch repair.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2017 Oct 1;25(4):565-570. doi: 10.1093/icvts/ivx182.	Original Article
79	Tabei KI, Satoh M, Ogawa JI, 他	認知症医療学	Physical Exercise with Music Reduces Gray and White Matter Loss in the Frontal Cortex of Elderly People: The Mihama-Kiho Scan Project.	Front Aging Neurosci. 2017 Jun 7;9:174. doi: 10.3389/fnagi.2017.00174. eCollection 2017.	Original Article
80	Enokiya T, Nishikawa K, Muraki Y, 他	薬剤部	Usefulness of limited sampling strategy for mycophenolic acid area under the curve considering postoperative days in living-donor renal transplant recipients with concomitant prolonged-release tacrolimus.	J Pharm Health Care Sci. 2017 Jun 24;3:17. doi: 10.1186/s40780-017-0086-7. eCollection 2017.	Original Article
81	Sugimoto M, Nunome T, Sakamoto R, 他	眼科	Effect of intravitreal ranibizumab on the ocular circulation of the untreated fellow eye.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2017 Aug;255(8):1543-1550. doi: 10.1007/s00417-017-3692-z. Epub 2017 Jun 28.	Original Article
82	Zhao W, Ma N, Wang S, 他	環境分子医学	RERG suppresses cell proliferation, migration and angiogenesis through ERK/NF- $\kappa$ B signaling pathway in nasopharyngeal carcinoma.	J Exp Clin Cancer Res. 2017 Jun 28;36(1):88. doi: 10.1186/s13046-017-0554-9. Erratum in: J Exp Clin Cancer Res. 2017 Jul 13;36(1):94.	Original Article
83	Araki T, Hashimoto K, Okita Y, 他	消化管外科、小児外科	Colonic Histological Criteria Predict Development of Pouchitis after Ileal Pouch: Anal Anastomosis for Patients with Ulcerative Colitis.	Dig Surg. 2018;35(2):138-143. doi: 10.1159/000477268. Epub 2017 Jun 30.	Original Article

84	Okita Y, Araki T, Hiro J, 他	消化管外科、小児外科	Laparoscopic ileopexy for afferent limb syndrome after ileal pouch-anal anastomosis.	Asian J Endosc Surg. 2017 Nov;10(4):424-426. doi: 10.1111/ases.12386. Epub 2017 Jun 30.	Case report
85	Kato K, Miyake K, Kondo N, 他	眼科	Conjunctival Goblet Cell Density Following Cataract Surgery With Diclofenac Versus Diclofenac and Rebamipide: A Randomized Trial.	Am J Ophthalmol. 2017 Sep;181:26-36. doi: 10.1016/j.ajo.2017.06.016. Epub 2017 Jun 29.	Original Article
86	Akeda K, Ohishi K, Masuda K, 他	整形外科	Intradiscal Injection of Autologous Platelet-Rich Plasma Releasate to Treat Discogenic Low Back Pain: A Preliminary Clinical Trial.	Asian Spine J. 2017 Jun;11(3):380-389. doi: 10.4184/asj.2017.11.3.380. Epub 2017 Jun 15.	Original Article
87	Ino K, Fujii S, Tajima K, 他	血液内科、腫瘍内科	Clinical Utility of Wilms' Tumor 1 Monitoring in Patients with Myeloid Malignancy and Prior Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation.	Biol Blood Marrow Transplant. 2017 Oct;23(10):1780-1787. doi: 10.1016/j.bbmt.2017.06.007. Epub 2017 Jun 30.	Original Article
88	Yamaguchi M, Miyazaki K.	血液内科、腫瘍内科	Current treatment approaches for NK/T-cell lymphoma.	J Clin Exp Hematop. 2017 Dec 27;57(3):98-108. doi: 10.3960/jslrt.17018. Epub 2017 Jul 6. Review.	Review
89	Wada H, Takahashi H, Uchiyama T, 他	検査医学	The approval of revised diagnostic criteria for DIC from the Japanese Society on Thrombosis and Hemostasis.	Thromb J. 2017 Jul 3;15:17. doi: 10.1186/s12959-017-0142-4. eCollection 2017.	Original Article
90	Shirai Y, Okugawa Y, Hishida A, 他	消化管外科、小児外科	Fish oil-enriched nutrition combined with systemic chemotherapy for gastrointestinal cancer patients with cancer cachexia.	Sci Rep. 2017 Jul 6;7(1):4826. doi: 10.1038/s41598-017-05278-0.	Original Article



91	Ishikawa H, Taniguchi A, Ii Y,他	脳神経内科	Double-seropositive myasthenia gravis with acetylcholine receptor and low-density lipoprotein receptor-related protein 4 antibodies associated with invasive thymoma.	Neuromuscul Disord. 2017 Oct;27(10):914-917. doi: 10.1016/j.nmd.2017.06.001. Epub 2017 Jun 3.	Original Article
92	Niwa A, Ii Y, Shindo A, 他	脳神経内科	Comparative Analysis of Cortical Microinfarcts and Microbleeds using 3.0-Tesla Postmortem Magnetic Resonance Images and Histopathology.	J Alzheimers Dis. 2017;59(3):951-959. doi: 10.3233/JAD-161242.	Original Article
93	Zhao W, Ma N, Wang S, 他	環境分子医学	Erratum to: RERG suppresses cell proliferation, migration and angiogenesis through ERK/NF- $\kappa$ B signaling pathway in nasopharyngeal carcinoma.	J Exp Clin Cancer Res. 2017 Jul 13;36(1):94. doi: 10.1186/s13046-017-0565-6. No abstract available.	Original Article
94	Iizawa Y, Kato H, Kishiwada M, 他	肝胆膵・移植外科	Long-term outcomes after pancreaticoduodenectomy using pair-watch suturing technique: Different roles of pancreatic duct dilatation and remnant pancreatic volume for the development of pancreatic endocrine and exocrine dysfunction.	Pancreatology. 2017 Sep - Oct;17(5):814-821. doi: 10.1016/j.pan.2017.06.008. Epub 2017 Jun 23.	Original Article
95	Hashimoto T, Kato N, Tokui T, 他	放射線科	Parallel placement of Excluder legs for treatment of type IIIb endoleaks caused by fabric tear after endovascular aneurysm repair.	J Vasc Surg. 2017 Oct;66(4):1285-1289. doi: 10.1016/j.jvs.2017.06.072. Epub 2017 Jul 11.	Original Article
96	Zhao W, Mo Y, Wang S, 他	環境分子医学	Quantitation of DNA methylation in Epstein-Barr virus-associated nasopharyngeal carcinoma by bisulfite amplicon sequencing.	BMC Cancer. 2017 Jul 17;17(1):489. doi: 10.1186/s12885-017-3482-3.	Original Article
97	Kubo M, Tanaka H, Maki S,他	産科婦人科	Safety and dose-finding trial of tadalafil administered for fetal growth restriction: A phase-1 clinical study.	J Obstet Gynaecol Res. 2017 Jul;43(7):1159-1168. doi: 10.1111/jog.13345.	Original Article

98	Hasegawa M, Naito Y, Yamaguchi T, 他	整形外科	Factors Contributing to Patient Satisfaction and Expectations following Computer-Assisted Total Knee Arthroplasty.	J Knee Surg. 2018 May;31(5):448-452. doi: 10.1055/s-0037-1604144. Epub 2017 Jul 18.	Original Article
99	Hasegawa M, Yoshida T, Sudo A.	整形外科	Role of tenascin-C in articular cartilage.	Mod Rheumatol. 2018 Mar;28(2):215-220. doi: 10.1080/14397595.2017.1349560. Epub 2017 Jul 19. Review.	Review
100	Masui-Ito A, Okamoto R, Ikejiri K, 他	救命救急・総合集中治療センター	Tocilizumab for uncontrollable systemic inflammatory response syndrome complicating adult-onset Still disease: Case report and review of literature.	Medicine (Baltimore). 2017 Jul;96(29):e7596. doi: 10.1097/MD.00000000000007596. Review.	Case report
101	Nakamura T, Matsumine A, Matsubara T, 他	整形外科	Infiltrative tumor growth patterns on magnetic resonance imaging associated with systemic inflammation and oncological outcome in patients with high-grade soft-tissue sarcoma.	PLoS One. 2017 Jul 20;12(7):e0181787. doi: 10.1371/journal.pone.0181787. eCollection 2017.	Original Article
102	Tanaka Y, Ohishi K, Sawai T,他	輸血部	Attempt to Harvest a Sufficient Number of Mononuclear Cells in an Appropriate Blood Product Volume By Modification of the Default Apheresis Setting.	Ther Apher Dial. 2017 Oct;21(5):507-511. doi: 10.1111/1744-9987.12562. Epub 2017 Jul 21.	Original Article
103	Okamoto T, Kawamoto E, Takagi Y, 他	分子病退学	Gap junction-mediated regulation of endothelial cellular stiffness.	Sci Rep. 2017 Jul 21;7(1):6134. doi: 10.1038/s41598-017-06463-x.	Original Article
104	Fujiwara K, Kobayashi T, Fujimoto H, 他	呼吸器内科	Inhibition of Cell Apoptosis and Amelioration of Pulmonary Fibrosis by Thrombomodulin.	Am J Pathol. 2017 Oct;187(10):2312-2322. doi: 10.1016/j.ajpath.2017.06.013. Epub 2017 Jul 21.	Original Article

105	Matsubara H, Matsui Y, Miyata R, 他	眼科	New photic stimulating system with white light-emitting diodes to elicit electroretinograms from zebrafish larvae.	Doc Ophthalmol. 2017 Oct;135(2):147-154. doi: 10.1007/s10633-017-9602-1. Epub 2017 Jul 29.	Original Article
106	Tanaka K, Sakuno T, Yamada R, 他	光学医療診療部	Gastrointestinal: Gastric inflammatory fibroid polyp that was resected after a 10-year follow-up.	J Gastroenterol Hepatol. 2018 Jan;33(1):5. doi: 10.1111/jgh.13913. No abstract available.	Original Article
107	Mizutani K, Umaoka A, Tsuda K, 他	皮膚科	Successful combination therapy of propranolol and prednisolone for a case with congenital Kasabach-Merritt syndrome.	J Dermatol. 2017 Dec;44(12):1389-1391. doi: 10.1111/1346-8138.13984. Epub 2017 Aug 3.	Case report
108	Otake K, Uchida K, Kubo M, 他	消化管外科、小児外科	Clinical factors associated with in-hospital death in pediatric surgical patients admitted to the neonatal intensive care unit: a 15-year single tertiary center experience.	J Pediatr Surg. 2018 Mar;53(3):499-502. doi: 10.1016/j.jpedsurg.2017.07.007. Epub 2017 Jul 15.	Original Article
109	Inoue M, Uchida K, Otake K, 他	消化管外科、小児外科	Long-term functional outcome after untethering surgery for a tethered spinal cord in patients with anorectal malformations.	Pediatr Surg Int. 2017 Sep;33(9):995-999. doi: 10.1007/s00383-017-4127-y. Epub 2017 Aug 4.	Original Article
110	Ito H, Mizumoto T, Shomura Y, 他	心臓血管外科、呼吸器外科	The impact of global left ventricular afterload on left ventricular reverse remodeling after aortic valve replacement.	J Card Surg. 2017 Sep;32(9):530-536. doi: 10.1111/jocs.13190. Epub 2017 Aug 11.	Original Article
111	Tomaru A, Kobayashi T, Hinneh JA, 他	呼吸器内科	Oligonucleotide-targeting periostin ameliorates pulmonary fibrosis.	Gene Ther. 2017 Nov;24(11):706-716. doi: 10.1038/gt.2017.80. Epub 2017 Aug 18.	Original Article

112	Enokiya T, Zhang E, Ikemura K, 他	薬剤部	Effect of lipid emulsion infusion on paliperidone pharmacokinetics in the acute overdose rat model: A potential emergency treatment for paliperidone intoxication.	Eur J Pharm Sci. 2017 Nov 15;109:217-222. doi: 10.1016/j.ejps.2017.08.010. Epub 2017 Aug 15.	Original Article
113	Nishikawa H, Nakatsuka Y, Shiba M, 他	脳神経外科	Increased Plasma Galectin-3 Preceding the Development of Delayed Cerebral Infarction and Eventual Poor Outcome in Non-Severe Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Transl Stroke Res. 2018 Apr;9(2):110-119. doi: 10.1007/s12975-017-0564-0. Epub 2017 Aug 22.	Original Article
114	Tanaka H, Tanaka K, Tsuji M, 他	産科婦人科	Non-invasive monitoring of the cardiac effects of continuous intravenous oxytocin infusion during cesarean delivery.	Int J Gynaecol Obstet. 2017 Nov;139(2):251-252. doi: 10.1002/ijgo.12305. Epub 2017 Sep 6. No abstract available.	Original Article
115	Ishinaga H, Kobayashi M, Qtsu K, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Endoscopic electrocauterization of pyriform sinus fistula.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2017 Nov;274(11):3927-3931. doi: 10.1007/s00405-017-4713-6. Epub 2017 Aug 23.	Original Article
116	Minami H, Nagaharu K, Nakamori Y, 他	血液内科、腫瘍内科	CXCL12-CXCR4 Axis Is Required for Contact-Mediated Human B Lymphoid and Plasmacytoid Dendritic Cell Differentiation but Not T Lymphoid Generation.	J Immunol. 2017 Oct 1;199(7):2343-2355. doi: 10.4049/jimmunol.1700054. Epub 2017 Aug 25.	Original Article
117	Toiyama Y, Okugawa Y, Tanaka K, 他	消化管外科、小児外科	A Panel of Methylated MicroRNA Biomarkers for Identifying High-Risk Patients With Ulcerative Colitis-Associated Colorectal Cancer.	Gastroenterology. 2017 Dec;153(6):1634-1646.e8. doi: 10.1053/j.gastro.2017.08.037. Epub 2017 Aug 25.	Original Article
118	Sawai T, Dohi K, Fujimoto N, 他	循環器内科、腎臓内科	Antialbuminuric effect of eplerenone in comparison to thiazide diuretics in patients with hypertension.	J Clin Hypertens (Greenwich). 2017 Oct;19(10):990-998. doi: 10.1111/jch.13054. Epub 2017 Aug 28.	Original Article

119	Hagi T, Nakamura T, Iino T,他	整形外科	The diagnostic and prognostic value of interleukin-6 in patients with soft tissue sarcomas.	Sci Rep. 2017 Aug 29;7(1):9640. doi: 10.1038/s41598-017-08781-6.	Original Article
120	Kasai Y, Sakakibara T, Mizuno T.	脊椎外科・医療工学	Characteristics of Patients with High Lie Scores in a Personality Test.	Indian J Psychol Med. 2017 Jul-Aug;39(4):418-421. doi: 10.4103/0253-7176.211745.	Original Article
121	Tawara I, Kageyama S, Miyahara Y,他	血液内科、腫瘍内科	Safety and persistence of WT1-specific T-cell receptor gene-transduced lymphocytes in patients with AML and MDS.	Blood. 2017 Nov 2;130(18):1985-1994. doi: 10.1182/blood-2017-06-791202. Epub 2017 Aug 31.	Original Article
122	Uemura M, Yano Y, Suzuki T, 他	糖尿病・内分泌内科	Comparison of Glucose Area Under the Curve Measured Using Minimally Invasive Interstitial Fluid Extraction Technology with Continuous Glucose Monitoring System in Diabetic Patients.	Diabetes Metab J. 2017 Aug;41(4):265-274. doi: 10.4093/dmj.2017.41.4.265.	Original Article
123	Hasegawa M, Wada H, Tone S, 他	整形外科	Monitoring of hemostatic abnormalities in major orthopedic surgery patients treated with edoxaban by APTT waveform.	Int J Lab Hematol. 2018 Feb;40(1):49-55. doi: 10.1111/ijlh.12727. Epub 2017 Sep 4.	Original Article
124	Matsumoto T, Wada H, Fujimoto N,他	輸血部	An Evaluation of the Activated Partial Thromboplastin Time Waveform.	Clin Appl Thromb Hemost. 2018 Jul;24(5):764-770. doi: 10.1177/1076029617724230. Epub 2017 Sep 8.	Original Article
125	Yamada R, Tanaka K, Inoue H, 他	消化器・肝臓内科	Pancreatic Adenocarcinoma Producing Parathyroid Hormone-Related Protein.	Case Rep Oncol Med. 2017;2017:5656130. doi: 10.1155/2017/5656130. Epub 2017 Aug 15.	Original Article

126	Toda M, Totoki T, Nakamura C, 他	免疫学	Low dose of alcohol attenuates pro-atherosclerotic activity of thrombin.	Atherosclerosis. 2017 Oct;265:215-224. doi: 10.1016/j.atherosclerosis.2017.09.005. Epub 2017 Sep 5.	Original Article
127	Nishikawa H, Shimizu S, Nakajima H, 他	脳神経外科	Characteristics of Blood Blister-Like Aneurysms with a Saccular-Shape Appearance.	World Neurosurg. 2017 Dec;108:595-602. doi: 10.1016/j.wneu.2017.09.054. Epub 2017 Sep 18.	Case report
128	Tabei KI, Kida H, Hosoya T, 他	認知症医療学	Prediction of Cognitive Decline from White Matter Hyperintensity and Single-Photon Emission Computed Tomography in Alzheimer's Disease.	Front Neurol. 2017 Sep 4;8:408. doi: 10.3389/fneur.2017.00408. eCollection 2017.	Original Article
129	Takeuchi K, Kitano M, Kiyotoshi H, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A targeted next-generation sequencing panel reveals novel mutations in Japanese patients with primary ciliary dyskinesia.	Auris Nasus Larynx. 2018 Jun;45(3):585-591. doi: 10.1016/j.anl.2017.09.007. Epub 2017 Sep 19.	Original Article
130	Omori T, Kurita T, Dohi K, 他	循環器内科、腎臓内科	Prognostic impact of unrecognized myocardial scar in the non-culprit territories by cardiac magnetic resonance imaging in patients with acute myocardial infarction.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2018 Jan 1;19(1):108-116. doi: 10.1093/ehjci/jex194. Erratum in: Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2018 Jan 1;19(1):122.	Original Article
131	Kumagai N, Dohi K, Fujimoto N, 他	循環器内科、腎臓内科	A novel method for the quantitative evaluation of diurnal respiratory instability in patients with heart failure: A pilot study.	J Cardiol. 2018 Feb;71(2):159-167. doi: 10.1016/j.jjcc.2017.08.002. Epub 2017 Sep 27.	Original Article
132	Nakamura T, Kawai A, Sudo A.	整形外科	Analysis of the patients with soft tissue sarcoma who received additional excision after unplanned excision: report from the Bone and Soft Tissue Tumor Registry in Japan.	Jpn J Clin Oncol. 2017 Nov 1;47(11):1055-1059. doi: 10.1093/jjco/hyx123.	Original Article

133	Ito A, Takao M, Shimamoto A, 他	心臓血管外科、呼吸器外科	Prolonged intravenous indocyanine green visualization by temporary pulmonary vein clamping: real-time intraoperative fluorescence image guide for thoracoscopic anatomical segmentectomy.	Eur J Cardiothorac Surg. 2017 Dec 1;52(6):1225-1226. doi: 10.1093/ejcts/ezx233.	Original Article
134	Ishigaki T, Kitano Y, Nishikawa H, 他	脳神経外科	Delayed Onset of Isolated Unilateral Oculomotor Nerve Palsy Caused by Post-Traumatic Pituitary Apoplexy: A Case Report.	Clin Med Insights Case Rep. 2017 Sep 25;10:1179547617731299. doi: 10.1177/1179547617731299. eCollection 2017.	Original Article
135	Ide S, Toiyama Y, Okugawa Y, 他	消化管外科、小児外科	Clinical Significance of C-Reactive Protein-to-Albumin Ratio with Rectal Cancer Patient Undergoing Chemoradiotherapy Followed by Surgery.	Anticancer Res. 2017 Oct;37(10):5797-5804.	Original Article
136	Ohi M, Toiyama Y, Mohri Y, 他	消化管外科、小児外科	Prevalence of anastomotic leak and the impact of indocyanine green fluorescein imaging for evaluating blood flow in the gastric conduit following esophageal cancer surgery.	Esophagus. 2017;14(4):351-359. doi: 10.1007/s10388-017-0585-5. Epub 2017 Jun 28.	Original Article
137	Yoshikawa K, Umekawa T, Maki S, 他	産科婦人科	Tadalafil Improves L-NG-Nitroarginine Methyl Ester-Induced Preeclampsia With Fetal Growth Restriction-Like Symptoms in Pregnant Mice.	Am J Hypertens. 2017 Dec 8;31(1):89-96. doi: 10.1093/ajh/hpx130.	Original Article
138	Tanizaki R, Takemura Y.	地域医療学	Anterior cutaneous nerve entrapment syndrome with pain present only during Carnett's sign testing: a case report.	BMC Res Notes. 2017 Oct 11;10(1):503. doi: 10.1186/s13104-017-2816-1.	Case report
139	Kagawa Y, Fujii E, Fujita S, 他	循環器内科、腎臓内科	Three cases of vasospastic angina following catheter ablation of atrial fibrillation.	J Arrhythm. 2017 Oct;33(5):511-513. doi: 10.1016/j.joa.2017.07.003. Epub 2017 Jul 31.	Original Article

140	Toriyabe K, Morikawa F, Minematsu T, 他	産科婦人科	Anti-cytomegalovirus immunoglobulin M titer for congenital infection in first-trimester pregnancy with primary infection: a multicenter prospective cohort study.	J Perinatol. 2017 Dec;37(12):1272-1277. doi: 10.1038/jp.2017.133. Epub 2017 Oct 12.	Original Article
141	Miyoshi T, Umekawa T, Hosoda H,他	産科婦人科	Plasma natriuretic peptide levels in fetuses with congenital heart defect and arrhythmia: a single-center prospective study.	Ultrasound Obstet Gynecol. 2017 Oct 11. doi: 10.1002/uog.18925. [Epub ahead of print]	Original Article
142	Kakuta K, Dohi K, Miyoshi M, 他	循環器内科、腎臓内科	Impact of renal function on the underlying pathophysiology of coronary plaque composition in patients with type 2 diabetes mellitus.	Cardiovasc Diabetol. 2017 Oct 12;16(1):131. doi: 10.1186/s12933-017-0618-3.	Original Article
143	Matsuura K, Kajikawa H, Tabei KI, 他	脳神経内科	The effectiveness of istradefylline for the treatment of gait deficits and sleepiness in patients with Parkinson's disease.	Neurosci Lett. 2018 Jan 1;662:158-161. doi: 10.1016/j.neulet.2017.10.018. Epub 2017 Oct 13.	Original Article
144	Nakamura M, Yamada N, Ito M.	循環器内科、腎臓内科	Novel Anticoagulant Therapy of Venous Thromboembolism: Current Status and Future Directions.	Ann Vasc Dis. 2017 Jun 25;10(2):92-98. doi: 10.3400/avd.ra.17-00015. Review.	Review
145	Ikejiri M, Wada H, Tone S, 他	中央検査部	Comparison of three different anti-Xa assays in major orthopedic surgery patients treated with direct oral anticoagulant.	Thromb J. 2017 Oct 12;15:27. doi: 10.1186/s12959-017-0150-4. eCollection 2017.	Original Article
146	Kato K, Kondo M, Nagashima R, 他	眼科	Factors Affecting Mydriasis-Free Flicker ERGs Recorded With Real-Time Correction for Retinal Illuminance: Study of 150 Young Healthy Subjects.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2017 Oct 1;58(12):5280-5286. doi: 10.1167/iovs.17-22587.	Original Article



147	Matsui T, Usui M, Wada H, Iizawa Y, Kato H, Tanemura A, Murata Y, Kuriyama N, Kishiwada M, Mizuno S, Sakurai H, Isaji S.	肝胆脾・移植外科	Platelet Activation Assessed by Glycoprotein VI/Platelet Ratio Is Associated With Portal Vein Thrombosis After Hepatectomy and Splenectomy in Patients With Liver Cirrhosis.	Clin Appl Thromb Hemost. 2018 Mar;24(2):254-262. doi: 10.1177/1076029617725600. Epub 2017 Oct 19.	Original Article
148	Hamada Y, Mizuno T, Tanaka K, 他	光学医療診療部	Esophageal squamous cell neoplasia is an independent negative prognostic factor for head and neck cancer patients.	Int J Clin Oncol. 2018 Apr;23(2):243-248. doi: 10.1007/s10147-017-1201-3. Epub 2017 Oct 24.	Original Article
149	Guo R, Kurata T, Kondo T, 他	脊椎外科・医療工学	Tumoral calcinosis in the cervical spine: a case report and review of the literature.	J Med Case Rep. 2017 Oct 27;11(1):304. doi: 10.1186/s13256-017-1474-1. Review.	Case report
150	Nishimura Y, Tagawa M, Ito H, 他	統合薬理学	Overcoming Obstacles to Drug Repositioning in Japan.	Front Pharmacol. 2017 Oct 11;8:729. doi: 10.3389/fphar.2017.00729. eCollection 2017.	Original Article
151	Matsuo H, Dohi K, Machida H, 他	循環器内科、腎臓内科	Echocardiographic Assessment of Cardiac Structural and Functional Abnormalities in Patients With End-Stage Renal Disease Receiving Chronic Hemodialysis.	Circ J. 2018 Jan 25;82(2):586-595. doi: 10.1253/circj.CJ-17-0393. Epub 2017 Oct 31.	Original Article
152	Ishii K, Matsuoka I, Kajiwara S, 他	腎泌尿器外科	Additive naftopidil treatment synergizes docetaxel-induced apoptosis in human prostate cancer cells.	J Cancer Res Clin Oncol. 2018 Jan;144(1):89-98. doi: 10.1007/s00432-017-2536-x. Epub 2017 Nov 2.	Original Article
153	Nomoto Y, Ii N, Murashima S, Yamashita Y, 他	放射線腫瘍学	Endobronchial brachytherapy with curative intent: the impact of reference points setting according to the bronchial diameter.	J Radiat Res. 2017 Nov 1;58(6):849-853. doi: 10.1093/jrr/rrx031.	Original Article

154	Sugimoto R, Iwasa M, Hara N, 他	消化器・肝臓内科	Changes in liver function and body composition by direct-acting antiviral therapy for hepatitis C virus infection.	Hepatol Res. 2018 Apr;48(5):337-344. doi: 10.1111/hepr.12999. Epub 2017 Dec 6.	Original Article
155	Kobayashi M, Tamari K, Kitano M, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A Time Limit for Initiating Anti-Inflammatory Treatment for Improved Olfactory Function after Head Injury.	J Neurotrauma. 2018 Feb 15;35(4):652-660. doi: 10.1089/neu.2017.5316. Epub 2018 Jan 24.	Original Article
156	Ito A, Enokiya T, Kawamoto E, 他	救命救急・総合集中治療センター	Two cases of life-threatening arrhythmia induced by risperidone: evaluation of risperidone and 9-hydroxy-risperidone concentrations.	Acute Med Surg. 2017 Apr 24;4(3):341-343. doi: 10.1002/ams2.277. eCollection 2017 Jul.	Original Article
157	Uemura S, Suzuki K, Katayama N, 他	救命救急・総合集中治療センター	Superior mesenteric artery syndrome leading to reversible mucosal gangrene.	Acute Med Surg. 2017 May 8;4(3):375-376. doi: 10.1002/ams2.283. eCollection 2017 Jul.	Original Article
158	Yamamoto A, Omori Y, Shindo A, 他	救命救急・総合集中治療センター	Basi-parallel anatomical scanning-magnetic resonance imaging for the diagnosis of reversible cerebral vasoconstriction syndrome of the basilar artery: a case report.	Acute Med Surg. 2017 Jul 28;4(4):458-461. doi: 10.1002/ams2.300. eCollection 2017 Oct.	Original Article
159	Tone S, Hasegawa M, Puppulin L, 他	整形外科	Surface modifications and oxidative degradation in MPC-grafted highly cross-linked polyethylene liners retrieved from short-term total hip arthroplasty.	Acta Biomater. 2018 Jan 15;66:157-165. doi: 10.1016/j.actbio.2017.11.012. Epub 2017 Nov 7.	Original Article
160	Ishikawa H, Niwa A, Asahi M, 他	脳神経内科	Diffusion tensor imaging and magnetic resonance spectroscopy in a patient with adult onset tuberous sclerosis complex.	J Clin Neurosci. 2018 Feb;48:108-110. doi: 10.1016/j.jocn.2017.10.072. Epub 2017 Nov 10.	Case report

161	Habe K, Wada H, Higashiyama A, 他	皮膚科	The Plasma Levels of ADAMTS-13, von Willebrand Factor, VWFpp, and Fibrin-Related Markers in Patients With Systemic Sclerosis Having Thrombosis.	Clin Appl Thromb Hemost. 2018 Sep;24(6):920-927. doi: 10.1177/1076029617736382. Epub 2017 Nov 12.	Original Article
162	Takeuchi K, Kitano M, Sakaida H, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Analysis of Otologic Features of Patients With Primary Ciliary Dyskinesia.	Otol Neurotol. 2017 Dec;38(10):e451-e456. doi: 10.1097/MAO.0000000000001599.	Original Article
163	Mouri G, Suzuki H, Hatazaki S, 他	脳神経外科	Skull Meningioma Associated with Intradural Cyst: A Case Report.	Clin Med Insights Case Rep. 2017 Nov 2;10:1179547617738231. doi: 10.1177/1179547617738231. eCollection 2017.	Original Article
164	Murasaka T, Ikemura K, Enokiya T, 他	薬剤部	Impact of the number of repeated inhalations and patient characteristics on the residual amount of inhaled laninamivir octanoate hydrate dry powder in pediatric patients with influenza.	J Pharm Health Care Sci. 2017 Nov 8;3:26. doi: 10.1186/s40780-017-0094-7. eCollection 2017.	Original Article
165	Ida-Eto M, Ohkawara T, Narita M.	発生再生医学	Specific localization of manserin peptide in the rat carotid body.	Acta Histochem. 2018 Jan;120(1):11-14. doi: 10.1016/j.acthis.2017.10.006. Epub 2017 Nov 21.	Original Article
166	Ishikawa H, Shindo A, Ii Y, 他	脳神経内科	Mediterranean fever gene mutations in patients with possible neuro-Sweet disease: a case series.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2018 Oct;89(10):1119-1121. doi: 10.1136/jnnp-2017-316667. Epub 2017 Nov 24. No abstract available.	Original Article
167	Afroz T, Hiraku Y, Ma N, 他	環境分子医学	Nitrative DNA damage in cultured macrophages exposed to indium oxide.	J Occup Health. 2018 Mar 27;60(2):148-155. doi: 10.1539/joh.17-0146-OA. Epub 2017 Nov 29.	Original Article

168	Matsuyama Y, Nakamura T, Hagi T,他	整形外科	Subungual onychomycosis due to <i>Aspergillus niger</i> mimicking a glomus tumor: A case report.	Biomed Rep. 2017 Dec;7(6):532-534. doi: 10.3892/br.2017.994. Epub 2017 Sep 29.	Original Article
169	Wada H, Matsumoto T, Katayama N.	血液内科、腫瘍内科	Emicizumab Prophylaxis in Hemophilia A with Inhibitors.	N Engl J Med. 2017 Nov 30;377(22):2193-4. doi: 10.1056/NEJMc1712683. No abstract available.	Original Article
170	Isaji S, Mizuno S, Windsor JA, 他	肝胆膵・移植外科	International consensus on definition and criteria of borderline resectable pancreatic ductal adenocarcinoma 2017.	Pancreatology. 2018 Jan;18(1):2-11. doi: 10.1016/j.pan.2017.11.011. Epub 2017 Nov 22.	Review
171	Suzuki Y, Katayama K, Ishikawa E, 他	循環器内科、腎臓内科	Granulomatous interstitial nephritis due to chronic lymphocytic leukemia: a case report.	BMC Nephrol. 2017 Dec 2;18(1):348. doi: 10.1186/s12882-017-0775-3.	Case report
172	Matsuyama H, Ii Y, Maeda M, 他	脳神経内科	Background and distribution of lobar microbleeds in cognitive dysfunction.	Brain Behav. 2017 Oct 16;7(11):e00856. doi: 10.1002/brb3.856. eCollection 2017 Nov.	Original Article
173	Matsui Y, Hasegawa M, Iino T, 他	整形外科	Tenascin-C Prevents Articular Cartilage Degeneration in Murine Osteoarthritis Models.	Cartilage. 2018 Jan;9(1):80-88. doi: 10.1177/1947603516681134. Epub 2016 Dec 4.	Original Article
174	Kobayashi T, Fujimoto H, D'Alessandro-Gabazza C,他	呼吸器内科	Recent studies move closer to answering questions about sequential therapy for anaplastic lymphoma kinase-rearranged non-small cell lung cancer.	J Thorac Dis. 2017 Sep;9(9):2847-2851. doi: 10.21037/jtd.2017.08.114. No abstract available.	Original Article

175	Nakajima K, Kato N, Hashimoto T, 他	放射線科	Treatment of Infected Aneurysm with Combined Endovascular Aneurysm Repair and Abscess Drainage.	J Vasc Interv Radiol. 2018 Feb;29(2):188-193. doi: 10.1016/j.jvir.2017.09.014. Epub 2017 Dec 6.	Original Article
176	Tanaka H, Matsunaga S, Yamashita T, 他	産科婦人科	A systematic review of massive transfusion protocol in obstetrics.	Taiwan J Obstet Gynecol. 2017 Dec;56(6):715-718. doi: 10.1016/j.tjog.2017.10.001. Review.	Review
177	Kakuta K, Dohi K, Fujimoto N, 他	循環器内科、腎臓内科	Assessment of coronary artery disease based on coronary flow velocity reserve by transthoracic Doppler echocardiography and coronary computed tomography angiography in a patient with dextrocardia: a case report.	J Echocardiogr. 2018 Sep;16(3):147-149. doi: 10.1007/s12574-017-0367-z. Epub 2017 Dec 15. No abstract available.	Original Article
178	Harada E, D'Alessandro-Gabazza CN, Toda M,他	免疫学	The Medicinal Mushroom, Grifola gargal, Ameliorates Allergic Bronchial Asthma.	J Med Food. 2018 Feb;21(2):136-145. doi: 10.1089/jmf.2017.4016. Epub 2017 Dec 20.	Original Article
179	Tanizaki R, Hashimoto S, Takemura Y.	地域医療学	Bucillamine-induced yellow nail syndrome.	J Gen Fam Med. 2017 Aug 29;18(6):479-480. doi: 10.1002/jgf2.124. eCollection 2017 Dec. No abstract available.	Original Article
180	Omori T, Fujii E, Kagawa Y, 他	循環器内科、腎臓内科	Twitching of the Pacemaker Pocket Induced by Radiofrequency Energy Delivery to the Cavotricuspid Isthmus.	Intern Med. 2018 Apr 1;57(7):961-964. doi: 10.2169/internalmedicine.9688-17. Epub 2017 Dec 21.	Case report
181	Ito T, Kuriyama N, Kato H, 他	肝胆膵・移植外科	Sinusoidal protection by sphingosine-1-phosphate receptor 1 agonist in liver ischemia-reperfusion injury.	J Surg Res. 2018 Feb;222:139-152. doi: 10.1016/j.jss.2017.09.048. Epub 2017 Nov 4.	Original Article

182	Yamasaki D, Tanabe M, Muraki Y, 他	感染制御部	The first report of Japanese antimicrobial use measured by national database based on health insurance claims data (2011-2013): comparison with sales data, and trend analysis stratified by antimicrobial category and age group.	Infection. 2018 Apr;46(2):207-214. doi: 10.1007/s15010-017-1097-x. Epub 2017 Dec 22.	Original Article
183	Umeda Y, Ishida F, Tsuji M, 他	脳神経外科	Computational fluid dynamics (CFD) using porous media modeling predicts recurrence after coiling of cerebral aneurysms.	PLoS One. 2017 Dec 28;12(12):e0190222. doi: 10.1371/journal.pone.0190222. eCollection 2017.	Original Article
184	Mori K, Toiyama Y, Otake K, 他	消化管外科、小児外科	Successful identification of a predictive biomarker for lymph node metastasis in colorectal cancer using a proteomic approach.	Oncotarget. 2017 Oct 30;8(63):106935-106947. doi: 10.18632/oncotarget.22149. eCollection 2017 Dec 5.	Original Article
185	Satoh M, Kida H, Kawagita S, 他	認知症医療学	Dementia IT screening system (DITS): Practical use of local social resources for early diagnosis of dementia with collaboration between family physicians and dementia specialists.	Geriatr Gerontol Int. 2018 Apr;18(4):599-606. doi: 10.1111/ggi.13221. Epub 2018 Jan 2.	Original Article
186	Ikemura K, Hiramatsu S, Okuda M.	薬剤部	Drug Repositioning of Proton Pump Inhibitors for Enhanced Efficacy and Safety of Cancer Chemotherapy.	Front Pharmacol. 2017 Dec 12;8:911. doi: 10.3389/fphar.2017.00911. eCollection 2017. Review.	Review
187	Yamaguchi K, Lear CA, Beacom MJ, 他	産科婦人科	Evolving changes in fetal heart rate variability and brain injury after hypoxia-ischaemia in preterm fetal sheep.	J Physiol. 2018 Jan 8. doi: 10.1113/JP275434. [Epub ahead of print]	Original Article
188	Nishikawa H, Suzuki H.	脳神経外科	Implications of periostin in the development of subarachnoid hemorrhage-induced brain injuries.	Neural Regen Res. 2017 Dec;12(12):1982-1984. doi: 10.4103/1673-5374.221150. No abstract available.	Original Article

189	Yoshida K, Akita N, Okamoto T, 他	整形外科	Activated protein C suppresses osteoclast differentiation via endothelial protein C receptor, protease-activated receptor-1, sphingosine 1-phosphate receptor, and apolipoprotein E receptor 2.	Thromb Res. 2018 Mar;163:30-40. doi: 10.1016/j.thromres.2018.01.001. Epub 2018 Jan 3.	Original Article
190	Furukawa K, Ishida F, Tsuji M, 他	脳神経外科	Hemodynamic characteristics of hyperplastic remodeling lesions in cerebral aneurysms.	PLoS One. 2018 Jan 16;13(1):e0191287. doi: 10.1371/journal.pone.0191287. eCollection 2018.	Original Article
191	Hamada Y, Ikemura K, Iwamoto T, 他	薬剤部	Stereoselective Inhibition of Renal Basolateral Human Organic Anion Transporter 3 by Lansoprazole Enantiomers.	Pharmacology. 2018;101(3-4):176-183. doi: 10.1159/000485920. Epub 2018 Jan 19.	Original Article
192	Nakatsuka Y, Shiba M, Nishikawa H, 他	脳神経外科	Acute-Phase Plasma Osteopontin as an Independent Predictor for Poor Outcome After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Mol Neurobiol. 2018 Aug;55(8):6841-6849. doi: 10.1007/s12035-018-0893-3. Epub 2018 Jan 20.	Original Article
193	Nishihama K, Yasuma T, Yano Y, 他	糖尿病・内分泌内科	Anti-apoptotic activity of human matrix metalloproteinase-2 attenuates diabetes mellitus.	Metabolism. 2018 May;82:88-99. doi: 10.1016/j.metabol.2018.01.016. Epub 2018 Jan 31.	Original Article
194	Mizuno T, Sakakibara T, Yoshikawa T, 他	脊椎外科・医療工学	Biomechanical Stability of a Cross-Rod Connection with a Pedicle Screw System.	Med Sci Monit Basic Res. 2018 Jan 26;24:26-30.	Original Article
195	Muraki Y, Mizuno S, Nakatani K, 他	薬剤部	Monitoring of peripheral blood cluster of differentiation 4(+) adenosine triphosphate activity and CYP3A5 genotype to determine the pharmacokinetics, clinical effects and complications of tacrolimus in patients with autoimmune diseases.	Exp Ther Med. 2018 Jan;15(1):532-538. doi: 10.3892/etm.2017.5364. Epub 2017 Oct 24.	Original Article

196	Kitano Y, Hashimoto S, Matsumoto H, 他	産科婦人科	Oral administration of L-carnitine improves the clinical outcome of fertility in patients with IVF treatment.	Gynecol Endocrinol. 2018 Aug;34(8):684-688. doi: 10.1080/09513590.2018.1431769. Epub 2018 Jan 29.	Original Article
197	Seo N, Shirakura Y, Tahara Y, 他	遺伝子・免疫細胞治療学	Activated CD8(+) T cell extracellular vesicles prevent tumour progression by targeting of lesional mesenchymal cells.	Nat Commun. 2018 Jan 30;9(1):435. doi: 10.1038/s41467-018-02865-1.	Original Article
198	Nishimura A, Nakazora S, Ito N, 他	整形外科	Endoscopic All-inside Repair of the Flexor Hallucis Longus Tendon in Posterior Ankle Impingement Patients.	Arthrosc Tech. 2017 Oct 9;6(5):e1829-e1835. doi: 10.1016/j.eats.2017.06.059. eCollection 2017 Oct.	Original Article
199	Hata Y, Ma N, Yoneda M, 他	脳神経内科	Nitrative Stress and Tau Accumulation in Amyotrophic Lateral Sclerosis/Parkinsonism-Dementia Complex (ALS/PDC) in the Kii Peninsula, Japan.	Front Neurosci. 2018 Jan 22;11:751. doi: 10.3389/fnins.2017.00751. eCollection 2017.	Original Article
200	Yoshikawa K, Iwasa M, Eguchi A, 他	消化器・肝臓内科	Neutrophil gelatinase-associated lipocalin level is a prognostic factor for survival in rat and human chronic liver diseases.	Hepatol Commun. 2017 Oct 16;1(9):946-956. doi: 10.1002/hep4.1109. eCollection 2017 Nov.	Original Article
201	Tanaka K, Fujiwara M, Toyoda H.	光学医療診療部	An Unlikely Lesion to Be Identified in the Cervical Esophagus.	Gastroenterology. 2018 Sep;155(3):610-612. doi: 10.1053/j.gastro.2018.01.050. Epub 2018 Feb 1. No abstract available.	Case report
202	Nishikawa H, Suzuki H.	脳神経外科	Possible Role of Inflammation and Galectin-3 in Brain Injury after Subarachnoid Hemorrhage.	Brain Sci. 2018 Feb 7;8(2). pii: E30. doi: 10.3390/brainsci8020030. Review.	Review



203	Tanaka K, Tanaka H, Maki S, 他	産科婦人科	Cardiac function and tadalafil used for treating fetal growth restriction in pregnant women without cardiovascular disease.	J Matern Fetal Neonatal Med. 2018 Feb 20:1-3. doi: 10.1080/14767058.2018.1438401. [Epub ahead of print]	Original Article
204	Matsuo K, Shindo A, Niwa A, 他	脳神経内科	Complement Activation in Capillary Cerebral Amyloid Angiopathy.	Dement Geriatr Cogn Disord. 2017;44(5-6):343-353. doi: 10.1159/000486091. Epub 2018 Feb 8.	Original Article
205	Ie K, Murata A, Tahara M, 他	家庭医療学	What determines medical students' career preference for general practice residency training?: a multicenter survey in Japan.	Asia Pac Fam Med. 2018 Jan 27;17:2. doi: 10.1186/s12930-018-0039-9. eCollection 2018.	Original Article
206	Onishi M, Kobayashi T, D'Alessandro-Gabazza CN, 他	呼吸器内科	Mice overexpressing latent matrix metalloproteinase-2 develop lung emphysema after short-term exposure to cigarette smoke extract.	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Feb 26;497(1):332-338. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.02.081. Epub 2018 Feb 8.	Original Article
207	Satoh M, Okamoto K, Tabei KI, 他	認知症医療学	The Effect of Motion Artifacts on Near-Infrared Spectroscopy (NIRS) Data and Proposal of a Video-NIRS System.	Dement Geriatr Cogn Dis Extra. 2017 Nov 30;7(3):406-418. doi: 10.1159/000484519. eCollection 2017 Sep-Dec.	Original Article
208	Nakamori S, Sakuma H, Dohi K, 他	循環器内科、腎臓内科	Combined Assessment of Stress Myocardial Perfusion Cardiovascular Magnetic Resonance and Flow Measurement in the Coronary Sinus Improves Prediction of Functionally Significant Coronary Stenosis Determined by Fractional Flow Reserve in Multivessel Disease.	J Am Heart Assoc. 2018 Jan 26;7(3). pii: e007736. doi: 10.1161/JAHA.117.007736.	Original Article
209	Katayama H, Matsumoto T, Wada H, 他	血液内科、腫瘍内科	An Evaluation of Hemostatic Abnormalities in Patients With Hemophilia According to the Activated Partial Thromboplastin Time Waveform.	Clin Appl Thromb Hemost. 2018 Oct;24(7):1170-1176. doi: 10.1177/1076029618757344. Epub 2018 Feb 13.	Original Article

210	Kasai Y, Mizuno T, Sakakibara T, 他	脊椎外科・医療工学	A survey of workplace violence against physicians in the hospitals, Myanmar.	BMC Res Notes. 2018 Feb 15;11(1):133. doi: 10.1186/s13104-018-3240-x.	Original Article
211	Shiba M, Toma N, Tanioka S, 他	脳神経外科	Significance of novel subcortical low intensity score on transient neurological events after revascularization surgery for moyamoya disease.	Clin Neurol Neurosurg. 2018 Apr;167:70-75. doi: 10.1016/j.clineuro.2018.02.019. Epub 2018 Feb 12.	Original Article
212	Totoki T, D' Alessandro-Gabazza CN, Toda M, 他	消化器・肝臓内科	Protein S Exacerbates Chronic Liver Injury and Fibrosis.	Am J Pathol. 2018 May;188(5):1195-1203. doi: 10.1016/j.ajpath.2018.01.007. Epub 2018 Feb 16.	Original Article
213	Kasahara K, Aoki H, Kiyono T, 他	分子生理学	EGF receptor kinase suppresses ciliogenesis through activation of USP8 deubiquitinase.	Nat Commun. 2018 Feb 22;9(1):758. doi: 10.1038/s41467-018-03117-y.	Original Article
214	Okugawa Y, Yao L, Toiyama Y, 他	消化管外科、小児外科	Prognostic impact of sarcopenia and its correlation with circulating miR-21 in colorectal cancer patients.	Oncol Rep. 2018 Apr;39(4):1555-1564. doi: 10.3892/or.2018.6270. Epub 2018 Feb 14.	Original Article
215	Mizuno T, Sakakibara T, Yoshikawa T, 他	脊椎外科・医療工学	Biomechanical problems related to pedicle screw system.	Turk Neurosurg. 2018 Jan 22. doi: 10.5137/1019-5149.JTN.21002-17.2. [Epub ahead of print]	Original Article
216	Tanaka F, Kogue R, Maeda M, 他	放射線科	Ipilimumab-induced hypophysitis involving the optic tracts and tuber cinereum evaluated using 3D fluid-attenuated inversion recovery.	Radiol Case Rep. 2017 Dec 12;13(1):261-264. doi: 10.1016/j.radcr.2017.11.007. eCollection 2018 Feb.	Original Article

217	Okugawa Y, Shirai Y, Toiyama Y, 他	消化管外科、小児外科	Clinical Burden of Modified Glasgow Prognostic Scale in Colorectal Cancer.	Anticancer Res. 2018 Mar;38(3):1599-1610.	Original Article
218	Xu DQ, Toyoda H, Yuan XJ, 他	小児科	Anti-tumor effect of AZD8055 against neuroblastoma cells in vitro and in vivo.	Exp Cell Res. 2018 Apr 15;365(2):177-184. doi: 10.1016/j.yexcr.2018.02.032 . Epub 2018 Feb 28.	Original Article
219	Hou B, Ishinaga H, Midorikawa K, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Let-7c inhibits migration and epithelial-mesenchymal transition in head and neck squamous cell carcinoma by targeting IGF1R and HMGA2.	Oncotarget. 2018 Jan 2;9(10):8927-8940. doi: 10.18632/oncotarget.23826. eCollection 2018 Feb 6.	Original Article
220	Hayasaki A, Isaji S, Kishiwada M, 他	肝胆膵・移植外科	Survival Analysis in Patients with Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Undergoing Chemoradiotherapy Followed by Surgery According to the International Consensus on the 2017 Definition of Borderline Resectable Cancer.	Cancers (Basel). 2018 Mar 5;10(3). pii: E65. doi: 10.3390/cancers10030065.	Original Article
221	Abe M, Tabei KI, Satoh M, 他	認知症医療学	Impairment of the Missing Fundamental Phenomenon in Individuals with Alzheimer's Disease: A Neuropsychological and Voxel-Based Morphometric Study.	Dement Geriatr Cogn Dis Extra. 2018 Feb 1;8(1):23-32. doi: 10.1159/000486331. eCollection 2018 Jan-Apr.	Original Article
222	Win T, Yamazaki T, Kanda K, 他	公衆衛生・産業医学	Neighborhood social capital and sleep duration: a population based cross-sectional study in a rural Japanese town.	BMC Public Health. 2018 Mar 12;18(1):343. doi: 10.1186/s12889-018-5204-4.	Original Article
223	Shindo A, Suzuki K, Iwashita Y, 他	脳神経内科	Sepsis-Associated Encephalopathy with Multiple Microbleeds in Cerebral White Matter.	Am J Med. 2018 Jul;131(7):e297-e298. doi: 10.1016/j.amjmed.2018.02.012. Epub 2018 Mar 9. No abstract available.	Original Article

224	Kato D, Ie K, Wakabayashi H.	家庭医療学、地域医療学	Influences on Scope of Practice: Not Only Population Size.	Fam Med. 2018 Mar;50(3):241. doi: 10.22454/FamMed.2018.409821. No abstract available.	Original Article
225	Omori T, Okamoto R, Fujimoto H, 他	循環器内科、腎臓内科	Yellow Nail Syndrome Complicating Coronary Artery Bypass Graft Surgery.	Circ J. 2018 Mar 13. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0154. [Epub ahead of print] No abstract available.	Original Article
226	Yamada R, Sakuno T, Inoue H, 他	消化器・肝臓内科	A case of duodenal malignant lymphoma presenting as acute pancreatitis: systemic lupus erythematosus and immunosuppressive therapy as risk factors.	Clin J Gastroenterol. 2018 Aug;11(4):286-290. doi: 10.1007/s12328-018-0848-2. Epub 2018 Mar 15.	Original Article
227	Liu L, Fujimoto M, Nakano F, 他	脳神経外科	Deficiency of Tenascin-C Alleviates Neuronal Apoptosis and Neuroinflammation After Experimental Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Mol Neurobiol. 2018 Mar 15. doi: 10.1007/s12035-018-1006-z. [Epub ahead of print]	Original Article
228	Kondo S, Araki T, Okita Y, 他	消化管外科、小児外科	Colitis with wall thickening and edematous changes during oral administration of the powdered form of Qing-dai in patients with ulcerative colitis: a report of two cases.	Clin J Gastroenterol. 2018 Aug;11(4):268-272. doi: 10.1007/s12328-018-0851-7. Epub 2018 Mar 16.	Original Article
229	Wakabayashi H, Hamaguchi T, Nagao N, 他	整形外科	Interleukin-6 receptor inhibitor suppresses bone metastases in a breast cancer cell line.	Breast Cancer. 2018 Sep;25(5):566-574. doi: 10.1007/s12282-018-0853-9. Epub 2018 Mar 19.	Original Article
230	Koike Y, Li B, Chen Y, 他	消化管外科、小児外科	Live Imaging of Fetal Intra-abdominal Organs Using Two-Photon Laser-Scanning Microscopy.	Methods Mol Biol. 2018;1752:63-69. doi: 10.1007/978-1-4939-7714-7_6.	Original Article

231	Xu DQ, Toyoda H, Qi L, 他	小児科	Induction of MEK/ERK activity by AZD8055 confers acquired resistance in neuroblastoma.	Biochem Biophys Res Commun. 2018 May 15;499(3):425-432. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.03.143. Epub 2018 Mar 30.	Original Article
232	Kubo-Kaneda M, Tanaka H, Maki S, 他	産科婦人科	Placental growth factor as a predictor of the efficacy of tadalafil treatment for fetal growth restriction.	J Matern Fetal Neonatal Med. 2018 Mar 26:1-4. doi: 10.1080/14767058.2018.1450863. [Epub ahead of print]	Original Article
233	Iwasa M, Karino Y, Kawaguchi T, 他	消化器・肝臓内科	Relationship of muscle cramps to quality of life and sleep disturbance in patients with chronic liver diseases: A nationwide study.	Liver Int. 2018 Mar 27. doi: 10.1111/liv.13745. [Epub ahead of print]	Original Article
234	Ito T, Fujimoto N, Ishikawa E, 他	循環器内科、腎臓内科	The effect of an L/N-type calcium channel blocker on intradialytic blood pressure in intradialytic hypertensive patients.	Clin Exp Hypertens. 2018 Mar 27:1-8. doi: 10.1080/10641963.2018.1445753. [Epub ahead of print]	Original Article
235	Masuda J, Kishi M, Kumagai N, 他	循環器内科、腎臓内科	Rural-Urban Disparity in Emergency Care for Acute Myocardial Infarction in Japan.	Circ J. 2018 May 25;82(6):1666-1674. doi: 10.1253/circj.CJ-17-1275. Epub 2018 Mar 27.	Original Article
236	Tsurudome M, Ohtsuka J, Ito M, 他	感染症制御医学・分子遺伝学	The Hemagglutinin-Neuraminidase (HN) Head Domain and the Fusion (F) Protein Stalk Domain of the Parainfluenza Viruses Affect the Specificity of the HN-F Interaction.	Front Microbiol. 2018 Mar 13;9:391. doi: 10.3389/fmicb.2018.00391. eCollection 2018.	Original Article
237	Tono Y, Ishihara M, Miyahara Y, 他	血液内科、腫瘍内科	Pertuzumab, trastuzumab and eribulin mesylate therapy for previously treated advanced HER2-positive breast cancer: a feasibility study with analysis of biomarkers.	Oncotarget. 2018 Feb 16;9(19):14909-14921. doi: 10.18632/oncotarget.24504. eCollection 2018 Mar 13.	Original Article

238	Yamaguchi M, Suzuki R, Oguchi M.	血液内科、腫瘍内科	Advances in the treatment of extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type.	Blood. 2018 Jun 7;131(23):2528-2540. doi: 10.1182/blood-2017-12-791418. Epub 2018 Mar 30. Review.	Review
239	Nakano F, Matsubara T, Ishigaki T, 他	脳神経外科	Incidence and risk factor of deep venous thrombosis in patients undergoing craniotomy for brain tumors: A Japanese single-center, retrospective study.	Thromb Res. 2018 May;165:95-100. doi: 10.1016/j.thromres.2018.03.016. Epub 2018 Mar 27.	Original Article
240	Nakase K, Kita K, Katayama N.	がんセンター	IL-2/IL-3 interplay mediates growth of CD25 positive acute myeloid leukemia cells.	Med Hypotheses. 2018 Jun;115:5-7. doi: 10.1016/j.mehy.2018.03.007. Epub 2018 Mar 20.	Original Article
241	Matsumoto T, Toyoda H, Amano K, 他	輸血・細胞治療部	Clinical Manifestation of Patients With Atypical Hemolytic Uremic Syndrome With the C3 p.I1157T Variation in the Kinki Region of Japan.	Clin Appl Thromb Hemost. 2018 Jan 1:1076029618771750. doi: 10.1177/1076029618771750. [Epub ahead of print]	Original Article
242	Terashima M, Miura Y, Ishida F, 他	脳神経外科	One-stage Stent-assisted Coil Embolization for Rupture-side-unknown Bilateral Vertebral Artery Dissecting Aneurysms in an Acute Stage: A Case Report.	NMC Case Rep J. 2018 Mar 9;5(2):45-49. doi: 10.2176/nmccrj.cr.2017-0109. eCollection 2018 Apr.	Original Article
243	Suzuki Y, Fujimoto M, Kawakita F, 他	脳神経外科	Tiny Falx Meningioma Causing Massive Interhemispheric Subdural Hematoma: A Case Report.	NMC Case Rep J. 2018 Mar 9;5(2):51-55. doi: 10.2176/nmccrj.cr.2017-0091. eCollection 2018 Apr.	Original Article
244	Makoto I, Usui M, Wada H, 他	中央検査部	Congenital Thrombophilia in Patients With Superior Mesenteric Venous Thrombosis or Portal Vein Thrombosis.	Clin Appl Thromb Hemost. 2018 Oct;24(7):1117-1121. doi: 10.1177/1076029618774146. Epub 2018 May 10.	Original Article

245	Okugawa Y, Toiyama Y, Oki S, 他	消化管外科、小児外科	Feasibility of Assessing Prognostic Nutrition Index in Patients With Rectal Cancer Who Receive Preoperative Chemoradiotherapy.	JPEN J Parenter Enteral Nutr. 2018 Aug;42(6):998-1007. doi: 10.1002/jpen.1041. Epub 2018 Jan 7.	Original Article
246	Ouchi T, Kato N, Nakajima K, 他	放射線科	Splenic Artery Aneurysm Treated With Endovascular Stent Grafting: A Case Report and Review of Literature.	Vasc Endovascular Surg. 2018 Jan 1:1538574418785252. doi: 10.1177/1538574418785252. [Epub ahead of print]	Original Article
247	Kondo M, Goto H, Yamanaka K.	皮膚科	Case of Scedosporium aurantiacum infection detected in a subcutaneous abscess.	Med Mycol Case Rep. 2018 Jan 10;20:26-27. doi: 10.1016/j.mmcr.2018.01.003. eCollection 2018 Jun.	Original Article
248	Hasegawa M, Wakabayashi H, Sudo A.	整形外科	A case of bone necrosis with pseudotumor following metal-on-metal total hip arthroplasty.	Arthroplast Today. 2017 Oct 25;4(3):291-294. doi: 10.1016/j.artd.2017.09.008. eCollection 2018 Sep.	Original Article

計248件

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					

～					
---	--	--	--	--	--

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。



(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的、定義、設置者の責務、委員会等の役割・責務、委員会等の構成及び会議の成立要件等、迅速審査に関すること。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、委員会の設置、申告、審査、指導等、情報開示、管理、利益相反相談室の設置、研究機関の長の責務に関すること。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年13回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年5回
・ 研修の主な内容 人を対象とする医学系研究倫理指針に関すること (3回)、臨床研究法に関すること (2回)	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内科専門研修プログラム, 第一内科後期研修プログラム, 消化器専門医養成プログラム, 先端内視鏡・低侵襲インターベンション専門消化器医養成プログラム, 消化器癌先端診療専門医養成プログラム, 呼吸器内科後期専門医プログラム, 糖尿病専門医取得コース, 内分泌・代謝専門医取得コース, 肥満症専門医取得コース, 病態栄養専門医取得コース, 腫瘍内科後期研修プログラム, 血液内科後期研修プログラム, 脳神経内科専門医取得コース, 消化管外科系専門医コース, 小児外科専門医コース, 外科専門医取得コース, 消化器外科専門医取得コース, 内視鏡外科専門医取得コース, 肝胆膵外科専門医取得コース, 移植外科専門医取得コース, 三重大学胸部心臓血管外科アドバンスコース, 三重大学胸部心臓血管外科専門医コース, 三重大学呼吸器外科専門医コース, 乳腺専門医取得コース, がんプロフェッショナル養成プラン ライフステージに応じた乳癌診療を担う人材養成コース, 整形外科後期研修プログラム, 産婦人科研修プログラム, 小児科専門医研修プログラム, 精神科専門研修プログラム, 皮膚科研修プログラム, 泌尿器科専門研修プログラム, 眼科専門医取得コース, 耳鼻咽喉科専門研修プログラム, 脳神経外科後期研修プログラム, 放射線科専門医取得コース, 家庭医療学プログラムver1, 家庭医療学プログラムver2, 総合診療専門研修プログラム, 形成外科後期研修プログラム, 麻酔認定医取得コース, 麻酔専攻医取得コース, 救命救急・総合集中治療センター後期研修プログラム, 病理専門研修プログラム, サブスペシャリティ重点研修タイプ リウマチ膠原病分野コース, 口腔外科専門医取得コース

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	310人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伊藤 正明(事務代理)	総合診療科	教授	39年	H18.4.1-H21.3.31休職
岡本 隆二	総合内科	講師	24年	
土肥 薫	循環器内科	講師	24年	
片山 直之	血液内科	教授	38年	
竹井 謙之	消化器・肝臓内科	教授	37年	
冨本 秀和	脳神経内科	教授	37年	
小林 哲	呼吸器内科	准教授	27年	
片山 直之	腫瘍内科	教授	38年	
石川 英二	腎臓内科	講師	23年	
矢野 裕	糖尿病・内分泌内科	准教授	33年	
田辺 正樹	感染症内科	准教授	21年	
伊佐地 秀司	一般外科	教授	39年	
楠 正人	消化管外科	教授	38年	
伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外科	教授	39年	
伊藤 久人	心臓血管外科	講師	16年	
高尾 仁二	呼吸器外科	准教授	34年	
小川 朋子	乳腺外科	教授	29年	
内田 恵一	小児外科	准教授	28年	

須藤 啓広	整形外科	教授	35年	
池田 智明	産科婦人科	教授	35年	
平山 雅浩	小児科	教授	32年	
岡田 元宏	精神科神経科	教授	27年	
山中 恵一	皮膚科	教授	25年	H15. 5. 16-H17. 6. 30休職
杉村 芳樹	腎泌尿器外科	教授	40年	
近藤 峰生	眼科	教授	27年	H11. 1. 25-H13. 1. 25休職
竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	33年	
鈴木 秀謙	脳神経外科	教授	28年	
成島 三長	形成外科	教授	17年	
佐久間 肇	放射線科	教授	33年	H5. 11. 1-H8. 3. 31休職
渡邊 昌俊	病理診断科	教授	29年	
中谷 中	遺伝子診療科	教授	29年	
丸山 一男	麻酔科	教授	34年	
丸山 一男	緩和ケア科	教授	34年	
今井 寛	救急科	教授	34年	
新井 直也	歯科口腔外科	教授	29年	H15. 4. 1-H16. 3. 31休職

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【皮膚排泄ケア院内認定「初級コース」研修】：ストーマ・褥瘡・排泄などに関して基本的な講義及び実習

【皮膚排泄ケア院内認定「中級コース」研修】：初級コースの講義、演習を踏まえた症例検討を通しアセスメント力を身につける内容  
など

・研修の期間・実施回数

【皮膚排泄ケア院内認定「初級コース」研修】：平成29年9月8日、9月22日、9月30日、10月6日、10月25日、10月31日、11月11日、11月25日、12月13日（計9回）

【皮膚排泄ケア院内認定「中級コース」研修】：平成30年1月18日、1月24日、1月31日、2月6日、2月21日、3月1日（計6回）

・研修の参加人数

【皮膚排泄ケア院内認定「初級コース」研修】：修了者25名

【皮膚排泄ケア院内認定「中級コース」研修】：修了者14名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【職員研修会】：病院の理念・基本方針、患者の権利、医療安全管理について

【合同研修会】：感染管理、医療機器、医療情報、医薬品の安全使用について

・研修の期間・実施回数

【職員研修会】：平成29年4月24日、5月22日（同内容2回開催）

【合同研修会】：平成29年5月10日、5月16日（同内容2回開催）

・研修の参加人数

【職員研修会】：1836人（e-learning受講含む）

【合同研修会】：1833人（e-learning受講含む）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 <u>2. 現状</u>
管理責任者氏名	病院長 伊藤 正明
管理担当者氏名	中央放射線部長 佐久間 肇 薬剤部長 奥田 真弘 医療安全管理部長 兼児 敏浩 医療福祉支援センター長 内田 恵一 医学・病院管理部総務課長 山崎 晴夫 医学・病院管理部医事課長 土屋 有司

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十一条の三第二項に	病院日誌	診療に関する諸記録は全科電子カルテを導入。(患者の署名のある同意書及び医師等が手書きした記録は、スキャンしている。)なお、診療録の病院外への持ち出しは、本院が定める取扱いにおいて禁止している。	
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十一条の三第三	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	掲げる事項 規則第一条の十一第一項	に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課、医療安全管理部
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況			総務課、医事課、医療安全管理部	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況			総務課、医事課、医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課、医療安全管理部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課、感染制御部
	第二条	院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課、感染制御部
	第三条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課、感染制御部
	第四条	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課、感染制御部
	第五項	医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
	第六号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課、薬剤部
	第七号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第八号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第九号	医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
	第十号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課、臨床工学部
	第十一号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課、臨床工学部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課、医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課、感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課、医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部、薬剤部
		監査委員会の設置状況	監査チーム、総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	各診療科、医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課、医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課、医療安全管理部、医療福祉支援センター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課、医療安全管理部
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課、医療安全管理部
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	企画総務部総務チーム、総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。



(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 伊藤 正明		
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長 山崎 晴夫		
閲覧の求めに応じる場所	医学・病院管理部総務課総務係		
閲覧の手続の概要			
①規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する。			
②病院長は、前記の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付する。			
③閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上で行う。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：</li> <li>・ 安全管理に関する基本的な考え方</li> <li>・ 安全管理のための委員会、その他の医療機関内の組織に関する基本的事項</li> <li>・ 安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>・ 医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針</li> <li>・ 医療事故等発生への対応に関する基本方針</li> <li>・ 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針</li> <li>・ 患者からの相談への対応に関する指針</li> <li>・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）</li> <li>・ 開催状況：年152回</li> <li>・ 活動の主な内容：</li> </ul> <p>○医療安全管理委員会（年 12 回）      医事法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医事紛争の処理に関する事項、医療訴訟に関する事項、死亡事例及び重症合併症事例に関する事項並びに内部通報窓口（医療安全ポスト）への投書に関する事項を所掌する。</p> <p>○医療の質・倫理検討委員会（年 24 回）      移植医療、終末期医療及び治療拒否等における臨床倫理的問題に関すること、医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること、インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること並びに職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関することを所掌する。</p> <p>○医療安全会議（年 104 回）      医療安全に係る検討及び死亡事例・重症合併症事例の検討を行う。</p> <p>○リスクマネージャー会議（年 12 回）      インシデントレポートの積極的な収集並びに医療安全管理委員会及び医療安全管理部において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。      各医療現場において、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について、独自に検討及び提言する。      各医療現場において、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓発活動を行う。</p>	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：</li> <li>・ 病院長を講師として、病院の基本理念や基本方針について、看護部長を講師として、患者の権利について、医療安全担当副病院長を講師として、医療安全管理について研修会を実施した。</li> <li>・ 外部講師による、演題「多職種で楽しく取り組む転倒予防」について研修会を実施した。</li> <li>・ 外部講師による、演題「意思決定が困難な方への意思決定支援～医療から日常・社会生活まで～」について研修会を実施した。</li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 （<input checked="" type="radio"/>有・無）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> </ul> <p>ヒヤリハットニュースの発行（月1回及び必要に応じて随時）、緊急職員集会の開催、リスクマネージャー会議の開催により、インシデントレポートから積極的に収集した情報並びに医療安全管理委員会及び医療安全会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・ 委員会等の組織に関する基本的事項</li> <li>・ 職員研修に関する基本方針</li> <li>・ 発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>・ 感染発生対応に関する基本方針</li> <li>・ 指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>・ その他の必要な基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 微生物（耐性菌、CD、感染症法上届け出疾患）の検出状況報告</li> <li>・ 職員流行性ウイルス疾患等の発生状況報告</li> <li>・ 病棟ラウンド指摘事項報告</li> <li>・ 手指衛生状況報告</li> <li>・ 血液培養2セット率報告</li> <li>・ 届け出抗菌薬使用状況報告</li> <li>・ 洗浄・消毒・滅菌に関する内容</li> <li>・ 感染症関連の従業員保健に関する内容</li> <li>・ 指針・マニュアルの改訂に関する内容</li> <li>・ 地域連携、国公立大学病院感染対策協議会の情報共有</li> <li>・ 感染症等の最新情報の共有</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染制御部長を講師として、院内感染対策マニュアル、標準予防策と感染経路別予防策、薬剤耐性菌対策と抗菌薬適正使用について研修会を実施した。</li> <li>・ 外部講師による、演題「感染症から未来を守る～今求められる薬剤耐性菌対策～」について研修会を実施した。</li> <li>・ 外部講師による、演題「チームで取り組む感染対策」について研修会を実施した。</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ○・無 )</p>	

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

委託業者の雇い入れ時に、B型肝炎・流行性ウイルス疾患4種の抗体価及びワクチン接種歴・結核検診検査結果の提出を義務付け、管理方法の整備を行うことで院内での感染対策強化を行った。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>・ 薬剤部職員を講師として、全職員を対象に、医薬品の安全使用についての研修会を実施した。</li> <li>・ 薬剤部職員を講師として、研修医を対象に、麻薬の取扱いに関する研修会を実施した。</li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (○有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</li> </ul> <p>1. 医薬品の採用と購入、2. 医薬品の管理、3. 医薬品の請求と調剤・交付、4. 未承認薬・適応外使用薬の適正使用、5. 与薬・施用と薬剤管理指導、6. 医薬品の安全使用にかかる情報の取扱い、7. 医薬品等の臨床試験（治験）および製造販売後調査に係る取扱い、8. 研修医等による医薬品の取扱い、9. 地域連携</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</li> </ul> <p>Vision Blue（眼科手術用色素製剤）、セレン注射液（在宅輸液療法におけるセレン補充）等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>・ カルテ端末から、電子医薬品集、最新の添付文書改訂情報、包装変更や供給状況など製薬企業からの情報を全職員が閲覧可能としている。</li> <li>・ 院内報（DI-Weekly、薬剤部ニュース、くすりの適正使用情報）を発行し、配布のほか、職員用エレベーターホールへの掲示、病院ポータルサイトへの掲載を随時行っている。</li> <li>・ 薬剤情報を病棟へ伝達するため病棟薬剤師と医薬品情報室員で週一回ミーティングを実施している。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 73 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>・ 臨床工学部職員を講師として、全職員を対象に、医療機器に関する安全使用について研修会を実施した。</p> <p>・ 中央放射線部にて使用する医療機器について、中央放射線部の職員を対象に、放射線管理と放射線障害に関する事項、放射線治療装置の取扱い及び精度管理に関する事項についての研修を行った。</p> <p>・ 特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器については、医師・看護師等を対象に、使用方法や有効性・安全に関する事項、不具合が発生した場合の対応などについての研修を行った。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>臨床工学技士による点検とメーカー委託による点検の実施</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)：</p> <p>・ 結紮用クリップシステムの、脳・脊髄動脈奇形・動静脈瘻の血管遮断、脳・脊髄硬膜の止血への応用</p> <p>・ 難治性癒痕性食道狭窄に対するステント留置術</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器に係る添付文書等の収集、PMDAメディアナビへの登録による情報収集や、使用している医療機器については、メーカーから情報を収集している。その他、医療安全管理部や他大学との連携により不具合情報を共有している。</p> <p>また、PMDAから随時配信される情報やメーカーなどから得た情報は、医療安全管理部を通して関係部署に周知し、必要があれば、リスクマネージャー会議にて報告するほか、電子カルテ端末からマニュアル等の閲覧システムにより情報を提供している。また、看護師と連携した医療機器中央管理運営委員会(年4回)に情報を提供している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師)・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者が、医療安全管理部長及び医療安全管理委員会委員長を担っており、これらを統括している。また、医療安全管理委員会には、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (6名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品に係る添付文書等やメーカー、インターネット、文献等から情報を収集し、整理した上で、薬剤部発行の院内医薬品情報誌やオンライン医薬品集、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メールや文書等による通知、病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明、その他掲示等により周知を行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>調剤や病棟薬剤業務における疑義照会時に未承認薬や適応外薬のスクリーニングを行い、適宜、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会への審議申請を図っている。未承認新規医薬品・医療機器評価委員会に付議された申請のうち、医薬品に係る審議事項の事前調査と委員会での説明と審議を行っている。未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で承認された適応外使用について、データベースを作成し薬剤部員で情報共有している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有) ・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤師) (所属： ， 職種 )</p> <p>(所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</p> <p>(所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</p> <p>(所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の実席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) ・無 )</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>各診療科の医師リスクマネージャーが実施評価等を行い、その内容を医療安全管理部が確認する。</p>	



⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理に関する責任者等が、診療記録の質的監査チェックシートを基に実施する。  監査項目は、日々の診療記録の記載がされており且つ、診療計画の立案、適切なプロセスでインフォームドコンセントが実施され同意書が得られているか、カンファレンスの開催内容が適切に記載されているか等をチェックする。  監査報告、指導については医療情報・診療記録管理委員会で今後の記載に当たっての注意事項、改善方法等について指導を行っている。  また、診療科長、主治医、担当医、看護師にも質的監査チェックシートを送付し、報告している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（4）名 ※兼任4名のうち1名は臨床工学技師  うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名  うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名  うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名  （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療の質・倫理検討委員会及び医療安全管理委員会に係る事務に関すること。</li> <li>(2) 医療事故その他の医療安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への指導に関すること。</li> <li>(3) インシデントレポートの収集・調査・防止対策及び防止対策の周知徹底に関すること。</li> <li>(4) 医療事故防止・安全管理に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。</li> <li>(5) 医療事故防止・安全管理に係わる業務改善の提言・指導に関すること。</li> <li>(6) 医療安全に係わる教育・研修・啓発に関すること。</li> <li>(7) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。</li> <li>(8) 医療安全会議及びリスクマネージャー会議に関すること。</li> <li>(9) 内部通報窓口（医療安全ポスト）に関すること。</li> <li>(10) 医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること。</li> <li>(11) 職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること。</li> </ol> <p>※(10)(11)について、インシデントレポートの内容確認、病院内の巡視、入院診療録の質・量の監査等により実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(12) インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること。</li> <li>(13) 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。</li> <li>(14) 未承認新規医薬品を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。</li> <li>(15) 未承認新規医療機器を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。</li> <li>(16) 死亡事例及び重症合併症事例に関すること。</li> <li>(17) その他医療の安全管理に関すること。</li> </ol> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（8件）、及び許可件数（8件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
  - ・診療科からの申出内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会に対して意見を求める。
  - ・高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。
  - ・当該医療技術について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（78件）、及び許可件数（77件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
  - ・診療科からの申出内容を確認し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会に対して意見を求める。
  - ・未承認新規医薬品・医療機器評価委員会からの意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。
  - ・当該未承認新規医薬品等について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 301 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 4648 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - ・医療安全管理部への報告の実施状況を確認させ、確認結果を病院長へ報告させること。
  - ・医療安全管理部への報告の実施状況が不十分な場合には、適切な報告のための職員等への研修及び指導を行わせること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（）（病院名：富山大学附属病院）・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）（病院名：岡山大学病院）・無
- ・技術的助言の実施状況

岡山大学病院から、下記の技術的助言があった。

高難度新規医療技術評価委員会及び未承認新規医薬品・医療機器評価委員会が頻回に開催されていることは高く評価されるが、全般に会議時間が短い印象を受けた。

現状として、責任者、委員長等に事前に資料を配布するとともに、高難度新規医療技術については高難度新規医療技術評価部会において、未承認新規医薬品等については薬剤部において事前に検討することにより、迅速な会議進行に努めている。このため、助言事項への対応は特になし。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

患者からの相談に応じる部門として、医療福祉支援センターを設置している。内容が医療安全に係る疑いがある場合は、情報を医療安全管理部に提供する。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

- ・医療安全担当副病院長を講師として、全職員を対象に、特定機能病院の要件見直しについて研修会を実施した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況

無し

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<p>三重大学医学部附属病院長候補者選考会議により検討予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>人事に関する事項、診療に関する事項、予算の配分方法に関する事項、組織の設置は医師の方針に関する事項、病院諸規定の制定改廃に関する事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>会議冒頭にて、前回の議事概要を確認し、構成員でない診療科長に周知している。また、診療科長が所属部署にて職員に周知を行っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="radio"/>無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="radio"/>無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
伊藤 正明	○	医師	病院長 循環器・腎臓内科学 教授
伊佐地 秀司		医師	副病院長（診療担当） 肝胆膵・移植外科学 教授
池田 智明		医師	副病院長（経営担当） 産科婦人科学 教授
須藤 啓広		医師	副病院長（教育・地域連携担当） 運動器外科学・腫瘍集学治療学 教授
佐久間 肇		医師	副病院長（研究・広報担当） 放射線医学 教授
江藤 由美		看護師	副病院長（医療サービス担当） 看護部長
兼児 敏浩		医師	副病院長（医療安全担当） 医療安全管理部 教授
近藤 峰生		医師	副病院長（働き方改革担当） 眼科学 教授
山田 浩之		事務	副病院長（財務担当） 医学・病院管理部長
丸山 一男		医師	麻酔集中治療学 教授
楠 正人		医師	消化管・小児外科学 教授
杉村 芳樹		医師	腎泌尿器外科学 教授

片山 直之		医師	血液・腫瘍内科学 教授
岡田 元宏		医師	精神神経科学 教授
竹井 謙之		医師	消化器内科学 教授
冨本 秀和		医師	神経病態内科学 教授
小川 朋子		医師	乳腺センター 教授
竹内 万彦		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授
今井 寛		医師	救急救命・総合集中治療センター 教授
鈴木 秀謙		医師	脳神経外科学 教授
新井 直也		医師	口腔・顎顔面外科学 教授
平山 雅浩		医師	小児科学 教授
成島 三長		医師	形成外科 教授
中島 亜矢子		医師	リウマチ・膠原病センター 教授
山中 恵一		医師	皮膚科学 教授
亀井 政孝		医師	臨床麻酔部 教授
奥田 真弘		医師	薬剤部長
渡邊 昌俊		医師	病理部長
笠島 茂		医師	疫学センター長
中谷 中		医師	中央検査部 教授
門脇 文子		看護師	病院長特命補佐（看護学科連携担当） 医学部看護学科附属病院連携推進室 教授

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・~~無~~）（今後公表予定）
- ・ 公表の方法

本学ホームページに掲載。

- ・ 規程の主な内容

「病院長は、附属病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括する。」旨を規定し、また、副病院長や病院長補佐等の病院長を補佐する役職の設置についても規定している。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

#### <副病院長>

附属病院の管理運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。（担当：診療、経営、教育・地域連携、研究・広報、医療サービス、医療安全、働き方改革、財務）

#### <病院長補佐>

附属病院の運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。（担当：医療機器）

#### <病院長特命補佐>

附属病院の運営を円滑に進めるため、特別の命を受け、病院長の職務を補佐する。（担当：医療情報システム、メディカルスタッフ、看護学科連携、経営、特務）

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院長以下執行部のほかに各診療科に科長、副科長を置き、科長のもとに外来医長、病棟医長、教育医長及び研究医長を置き、それぞれに責任を持たせ担当業務を遂行させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況					①・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>医学部附属病院における医療に係る安全管理の状況を監査し、学長又は病院長に対して提言を行う。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>本学ホームページに掲載。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
片山 眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	有・②	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・②	2
鈴木 明	浜松医科大学 医学部附属病院 医療安全管理室 特任 講師	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	有・②	1
西井 恵子	三重県津保健所 総務企画課 医療監視員		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	①・無	1
原 健二	元警視正・三重 県警察本部 警備部長		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	①・無	2



- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
  3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

「国立大学法人三重大学におけるコンプライアンスの推進に関する規程」によりコンプライアンス体制を整備しており、学長がコンプライアンスに関する管理責任者として最終責任を負い、本学のコンプライアンスの推進を図り、公正・公平かつ誠実な業務の遂行を確保するため、コンプライアンス委員会を設置している。

また、「三重大学監事監査規程」第9条において、「監事は、役員が内部統制システムを適切に構築し運用しているかを監視し検証しなければならない」と定め、特に同条第1号では、「学長、理事及び職員の職務執行が法令等に違反しないための法令等遵守体制」と明記している。また、同規程第17条では、「監事は、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、役員会のほか、経営協議会、教育研究評議会、その他の重要な会議又は委員会に出席することができ、必要であると認めるときは、意見を述べることもできる」となっている。これに基づき、監事は、以下の大学本部の重要会議に出席し、管理者からの病院事業報告の状況を検証している。

(役員会、経営協議会、教育研究評議会、拡大役員打合せ)

また、主として以下の病院関連各種重要会議に出席して法令等の遵守状況、管理者の開設者への事業報告状況、病院の経営状況を確認している。

(病院マネジメント会議、医療安全管理委員会、科長会議、病院監査委員会)

これら活動の状況は毎月初めに、別添フォーマットにより、監事より開設者に報告され、管理者にも写しにより報告される。

(平成30年6~9月の病院関連各種会議への出席の状況は下表のとおり)

会議名	主たる議題	出席回数
病院マネジメント会議	業績、医療安全、COI、当局指摘対応、労務管理ほか	15回
医療安全管理委員会	医療事故報告、継続フォロー案件報告ほか	4回
科長会議	各病院幹部・科長からの報告ほか	3回
病院監査委員会	外部委員会：医療安全体制に関するアドバイス	1回

- ・ 専門部署の設置の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 ( 有 ・  無 ) (今後公表予定)
- ・ 公表の方法

本学ホームページに掲載。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況</li> </ul> <p>医学部附属病院における予算執行及び管理運営の状況等を監督し、学長及び病院長に対して提言を行うための三重大学医学部附属病院監督管理委員会を、大学の理事会とは別に設置している。当該委員会を平成30年7月26日に設置し、平成30年度中に第1回委員会を開催する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議体の実施状況（ 年1回予定 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ）（ 年1回予定 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ）（ 今後公表予定 ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul> <p>本学ホームページに掲載。</p>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：三重大学医学部附属病院監督管理委員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
委員調整中			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年5件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 医療安全会議、リスクマネージャー会議、ヒヤリハットニュース等において、全職員に周知を図り、また、そのことが周知されたか否かについて、リスクマネージャーに再度確認を行っている。</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の認定を受けている。</p> <p>(2005年7月認定、2010年更新、2015年更新)</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページでの情報発信のほか、医学系研究科・附属病院概要など各種広報誌の発行や公開講座の実施など、広く情報発信を行っている。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>がんセンター等で診療科間及び職種を越えた連携によるチーム医療、集学的治療を推進している。また、本院において個々に展開されているチーム医療の機能を高め、チーム間の連携を強化することによって、診療のサポートをより効果的・効率的に行い、医療の質の向上に繋げることを目的としたチーム医療推進センターを設置し、チーム医療の機能及び連携の強化を行っている。</p>	